

第 33 号 (令和 3 年度分)

広島県立文書館 事業年報

歴史資料は 過去・現在・未来をつなぐ 私たちの財産です

もんじょかん
広島県立文書館

目 次

I 概 要

1	設置目的	1
2	業務内容	1
3	沿革	1
4	施設・設備	2
5	組織及び職員構成	3
6	文書館運営予算	4
7	収蔵資料	4
8	各階平面図	5

II 事業報告

1	収集	6
2	整理	17
3	保存	19
4	利用	22
5	展示・普及啓発	25
6	研究・研修・調査	28
7	その他	30
8	業務日誌	31

III 法律・条例・規則

1	公文書館法	35
2	広島県立文書館設置及び管理条例	35
3	広島県立文書館管理規則	35
4	広島県文書等管理規則（抄）	37
5	広島県文書等管理規程（抄）	37
	（利用案内）	38

I 概要

1 設置目的

広島県に関する歴史的資料として重要な行政文書、古文書、その他の記録を収集し、及び保存するとともに、これらの利用を図り、もって学術及び文化の発展に寄与する。（広島県立文書館設置及び管理条例第1条）

2 業務内容

- (1) 文書等の収集、整理及び保存に関すること
- (2) 文書等の利用に関すること
- (3) 文書等の調査及び研究に関すること
- (4) 文書等についての専門的な知識の普及啓発に関すること
- (5) 文書等の目録、史誌、資料集等の編さん及び刊行に関すること
- (6) その他文書館の目的を達成するために必要な事業に関すること

3 沿革

昭和34年	11月	「公文書散逸防止について」日本学会議が勧告
40年	1月	広島県立文書館設定期成会（代表 福尾広島大学教授）が組織され、文書館の設立及び官公庁の廃棄文書選別保存の必要性について関係方面へ運動を開始
40年	3月	広島県廃棄行政文書の選別収集を開始
43年	4月	広島県史編さん事業を開始
57年	2月	県立文書館建設調査研究協議会（55年10月発足、会長：今堀誠二広島女子大学学長）が知事に「広島県立文書館基本構想についての報告書」を提出
59年	3月	広島県史編さん事業が完了（昭和43年から16年間、全27巻）
	12月	広島大学跡地利用研究協議会（会長 荒木武広島市長）が跡地利用計画の最終案を決定 県立文書館、県立図書館、県立産業技術交流センターによる複合施設（仮称情報プラザ）として建設することが決定
63年	3月	広島県情報プラザ完成
	4月	総務部総務課に県立文書館開館準備担当を設置（広島県情報プラザ（文書館）で勤務）
	6月	公文書館法施行
	10月	広島県立文書館開館 広島県情報プラザ（文書館）落成式挙行 開館記念特別講演会を広島県情報プラザで開催
平成元年	10月	第15回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会を広島県情報プラザで開催
5年	10月	開館5周年記念講演会を広島県情報プラザで開催
6年	6月	第6回都道府県・政令指定都市公文書館長会議を広島県情報プラザで開催
10年	5月	開館10周年記念パネル展を広島県情報プラザで開催
15年	3月	広島県のホームページに県立文書館ホームページを開設
15年	4月	中間書庫（広島市南区出汐二丁目旧地方公務員研修所）の使用開始
18年	2月	中間書庫を旧地方公務員研修所から旧観音職員寮（広島市西区観音新町四丁目）へ移転
20年	10月	開館20周年記念リバイバル展及び記念講演会を開催
23年	9月	広島大学文書館と「災害等の発生に伴う史・資料保護に関する相互協力協定書」を締結
24年	11月	第38回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会を広島県民文化センター・鯉城会館で開催

25年	1月	当館寄託「福山市・山野村役場文書」が広島県重要文化財に指定
26年	4月	中間書庫として旧県立白木高校（広島市安佐北区白木町秋山 1210-1）の教室を確保
30年	9月	開館 30 周年記念講演会を開催
令和 2年	3月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（3月 9 日～5月 23 日）
3年	5月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（5月 8 日～6月 19 日，8月 2 日～9月 30 日，令和 4年 1月 11 日～3月 5 日）

4 施設・設備

県立文書館（総務局所属）は，県立図書館（教育委員会所属），県立産業技術交流センター（商工労働局所管），県立生涯学習センター（教育委員会所属）と共に「広島県情報プラザ」内に設置されている。

(1) 情報プラザ

所在地	広島市中区千田町三丁目 7 番 4 7 号		
用途地域	住居地域（建ぺい率 60%，容積率 200%）		
防火指定	準防火地域		
敷地面積	10,015.78 m ²		
建築面積	5,666 m ²		
延床面積	23,674 m ²	内訳	文書館 2,530 m ² 図書館 6,190 m ² 産業技術交流センター 4,880 m ² 共有部分 10,074 m ²

〔工期〕昭和 61 年 6 月～昭和 63 年 3 月 〔総事業費〕10,481,970 千円（うち，用地取得費 2,905,734 千円）

※ 県立生涯学習センターは，平成 21 年度に広島市東区から移転

(2) 文書館

ア 情報プラザ内（主要な専用部分のみ）

区 分	面積（m ² ）	仕 様 等
閲覧室	203	21 席
閲覧準備室	35	8 席
展示室	90	ハロンガス消火設備
		固定展示ケース 2 面（延長 22.4m）
研修・会議室	94	62 人収容
調査研究室	43	書架（密集式）延長 451m
事務室	102	
館長室	22	
マイクロ撮影室	35	
製本補修室	29	和室 6 畳付
マイクロ保管庫	36	24 時間空調，ハロンガス消火設備 書架延長 77m
第 1 書庫	103	古文書用，24 時間空調，2 時間耐火構造，ハロンガス消火設備

		壁面～防湿用発泡ウレタン吹付けの上，調湿板仕上 天井～防湿用発泡ウレタン吹付けの上，調湿用岩面板仕上 書架（密集）延長 1,314m
第 2 書庫	77	複製本用，2 時間耐火構造，ハロンガス消火設備 壁面・天井は，第 1 書庫と同じ仕様 書架（密集）延長 932m
第 3 書庫	17	貴重書庫，24 時間空調，2 時間耐火構造，ハロンガス消火設備 壁面・天井は，第 1 書庫と同じ仕様 書架延長 34m
第 4 書庫	367	古文書用，24 時間空調，2 時間耐火構造，ハロンガス消火設備 壁面・天井は，第 1 書庫と同じ仕様 書架延長 1,447m
第 5 書庫	481	行政文書用，24 時間空調，2 時間耐火構造，ハロンガス消火設備 壁面・天井は，第 1 書庫と同じ仕様 書架（密集）延長 6,085m
旧消毒室	52	平成 23 年度に燻蒸設備を全て撤去し，書架を配置 平成 24 年度から書庫として活用 書架延長 400m
荷解整理室	95	書架延長 100m

※ 書架延長（第1書庫～第5書庫，マイクロフィルム保管庫，旧消毒室，荷解整理室）10,389m

※ 24時間空調の設定条件：温度25度以下，湿度55～60%

※ 令和 3 年度は，マイクロフィルム保管庫に書架（ハンドル式移動棚，77m）を新たに設置した。なお，平成 30 年度・令和元年度の年報では，キャスター付き書架を書架延長に含めたが，令和 2 年度からは含めないことにした。

イ 中間書庫

平成 15 年 4 月 1 日，旧広島県地方公務員研修所（広島市南区出汐二丁目）を中間書庫として使用開始した。その後，平成 18 年 2 月 28 日，中間書庫を旧広島県観音職員寮（広島市西区観音新町四丁目）へ移転した。令和 4 年 3 月に移動式書架を増設し，書架延長 2,986m となった（令和 4 年 3 月 31 日現在）。

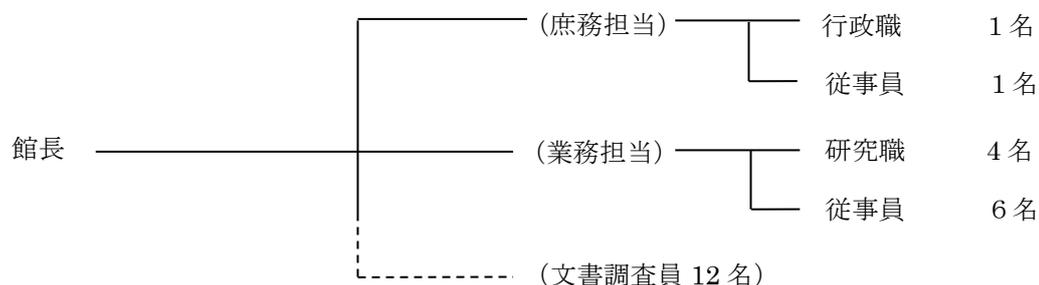
また，平成 26 年度より旧白木高校跡施設（安佐北区白木町秋山）を中間書庫として利用している。書架延長 706m（令和 4 年 3 月 31 日現在）。

5 組織及び職員構成（令和 3 年 4 月 1 日現在）

(1) 職員定数

13 名（常勤職員 6 名，会計年度任用職員（文書等整理従事員）7 名）

(2) 組織の状況



(3) 文書調査員

ア 委嘱

県内における歴史的資料の所在，保存状況等を把握するため，次の12名を委嘱した。

石田雅春	井長整次	折田恵子	菅 信博
高橋孝二	高橋 朋	竹本省三	寺川大雅
中畑和彦	三浦 忍	宮原千香子	宮本住逸

イ 文書調査員会議

令和3年度は，新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防するため，文書調査員会議を開催しなかった。

6 文書館運営予算（年度別当初予算）

（単位：千円）

区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
館 運 営 費	11,081	11,613	13,197	16,650	16,963
会計年度任用職員等人件費	15,260	15,447	18,678	22,826	23,516
施 設 維 持 費	11,384	11,384	11,594	11,594	11,594
大 規 模 修 繕 費	12,221	12,663	16,082	2,232	17,494
計	49,946	51,107	59,551	53,302	69,567

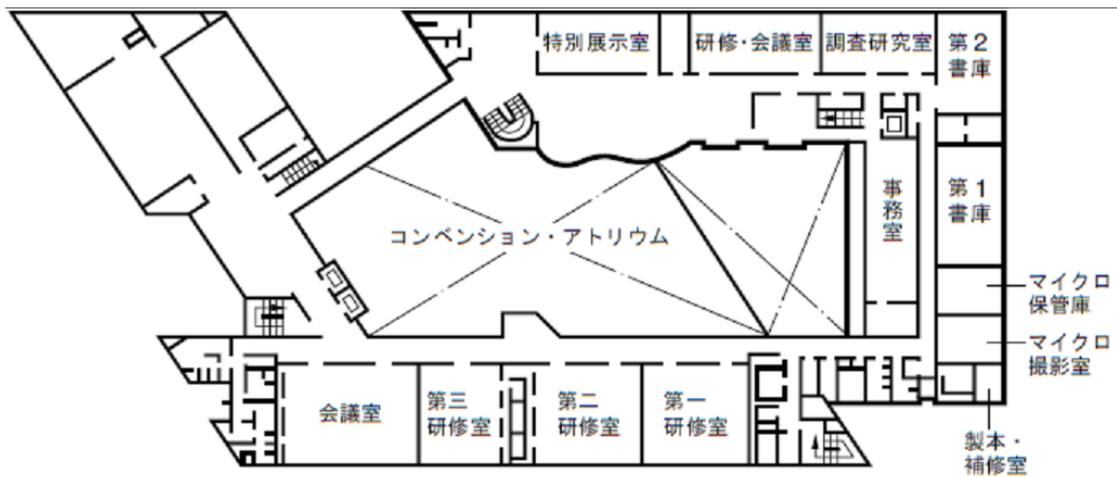
7 収蔵資料

令和3年度末現在の収蔵資料は，次のとおりである。

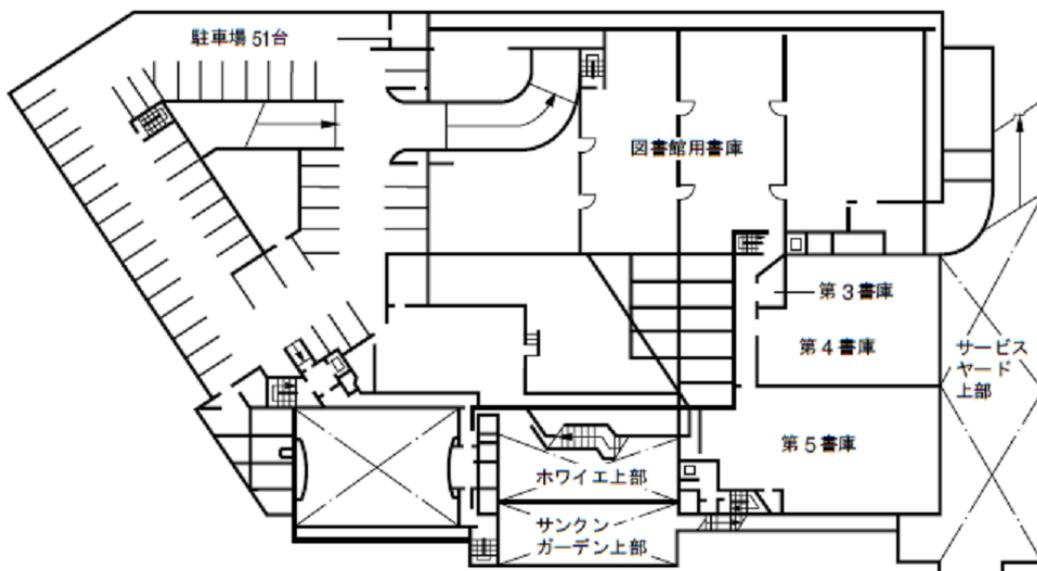
令和4年3月31日現在

種 類	内 容	現有資料数
行政文書	保存年限が満了した県の行政文書の中から，将来，歴史資料として価値があるものとして選別したもの，及び長期保存文書のうち移管を受けたもの	約 64,000 冊
行政資料	県・国・市町村が刊行する各種行政刊行物（外郭団体や民間団体の刊行物を含む。）	約 112,000 冊
古 文 書	県の行政文書以外の文書の総称で，文書館に寄贈・寄託されたもの	約 295,000 点
複製資料	古文書を撮影したマイクロフィルムとそれを焼付けたもの	約 236 万コマ
		約 42,000 冊
図 書	都道府県史，市町村史，郷土に関する図書	約 25,000 冊

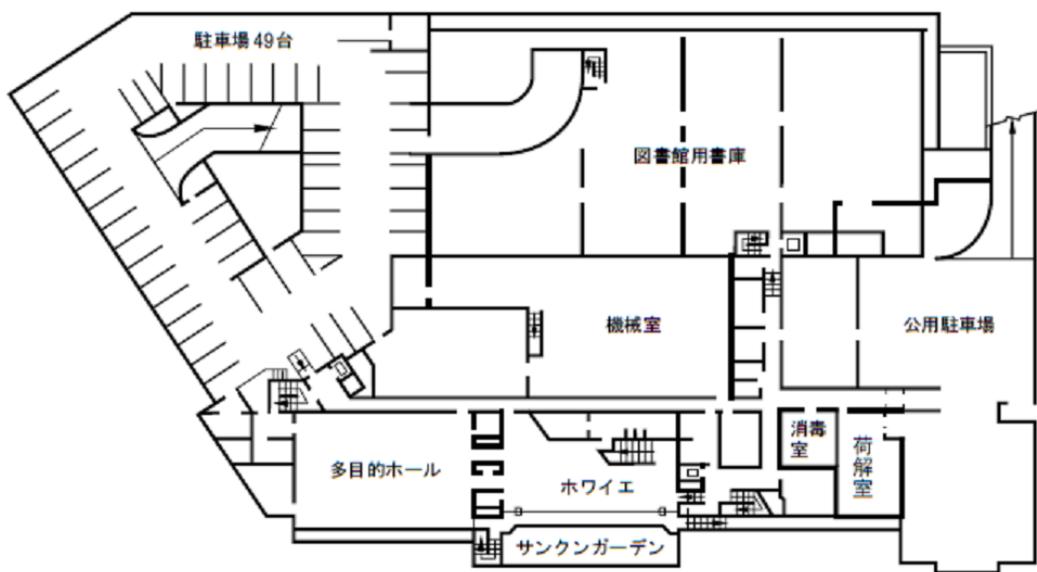
8 各階平面図



2階平面図



地下1階平面図



地下2階平面図

II 事業報告

1 収 集

(1) 行政文書

令和3年度は、503冊の行政文書（知事部局本庁機関371冊，同地方機関8冊，企業局2冊，教育委員会事務局43冊，監査委員事務局79冊）を選別収集した結果，収蔵行政文書は55,974冊となった。またこの他に，県庁舎の耐震改修工事に係る執務室の戻り移転に伴って，知事部局本庁機関の行政文書（約2,500冊）を受け入れた。今後，整理作業を進め，データベースに登録する予定である。

ア 行政文書課別冊数

課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数
内務部第一課	6	秘書広報課	101	企画広報課	43
県治課	3	県民広報課	28	企画室	138
内務部地方課	7	広報広聴課	62	企画課	440
庶務課	35	行政情報室	71	企画調整課	283
広島県参事会	2	広報室	13	地域振興・総務室	12
出納・総務室	4	広報課	7	地域政策総務課	23
出納総務室	6	人事課	35	政策企画室	7
会計総務課	3	職員課	1	分権改革課	48
会計課	36	財政課	1,537	地方分権推進課	4
指導検査室	8	財政室	512	地域企画室	128
企画指導室	2	税務課	8	地域調整室	4
審査指導室	2	税務室	2	地域開発課	158
審査指導課	4	消防防災課	358	地域振興課	743
用度室	2	消防室	8	地域政策室	40
用度課	1	保安室	4	中山間地域対策課	183
総務事務課	2	消防・保安室	1	中山間地域振興課	38
総務課	466	消防保安課	4	中山間地域振興室	38
総務室	33	危機管理室	32	広域行政推進課	3
総務学事課	27	危機管理課	24	地域政策課	17
学事振興室	38	管財課	51	地域力創造課	14
学事課	200	管財第一課	2	環境県民総務課	28
広島女子大学整備事務局	2	管財第二課	2	土地対策課	24
文書法制室	24	財産管理室	10	消費生活室	12
県史編さん室	8	財産管理課	2	消費生活課	77
東京事務所	12	福利課	37	生活課	32
文教課	93	福利室	2	県民課	389
私学振興室	23	職員健康推進室	2	県民文化課	26
学事室	7	政策企画課	58	文化振興室	72
大学企画管理室	4	政策企画局	182	生活文化室	11
渉外課	1	企画調整局	6	県立生活センター	12
外事課	138	戦略推進課	1	福山地方生活センター	6
国際交流課	390	経営企画チーム	90	三次地方生活センター	3
国際企画室	27	情報政策課	76	県民文化室	78
国際交流室	76	情報政策室	41	文化・県民協働室	18
国際室	2	情報ネットワーク管理室	4	文化芸術課	49
国際課	6	行政情報化推進室	3	コミュニティ振興課	15
秘書課	25	研究開発室	8	国民文化祭事務局	26

課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数
交通安全対策室	66	障害福祉課	225	保健対策室	12
交通対策課	124	身体障害者福祉室	13	環境衛生課	505
交通対策室	42	知的障害者福祉室	12	生活衛生室	54
地方課	1,265	障害者支援室	9	食品衛生室	20
市町村課	237	障害者支援課	100	食品生活衛生課	30
市町村行政室	40	児童課	30	予防課	96
市町村税財政室	75	児童家庭課	202	公衆衛生課	332
市町行政室	30	児童福祉課	247	健康対策課	179
市町行政課	1,105	児童支援室	19	健康増進室	15
市町村合併推進室	38	家庭支援室	17	原爆被爆者対策課	70
地域づくり推進室	40	こども夢プラン推進室	9	原爆被爆者援護室	4
地域行政室	5	こども家庭支援室	8	被爆者・毒ガス障害者対策室	15
地域税財政室	14	こども家庭課	76	被爆者支援課	52
権限移譲推進室	4	青少年対策室	39	薬務課	223
新過疎対策課	9	青少年婦人対策室	7	薬務室	20
過疎対策課	4	青少年婦人課	145	環境総務室	1
地域整備課	165	青少年女性課	73	環境生活総務室	4
統計課	896	県民活動課	15	公害対策室	11
情報統計課	68	男女共同参画推進室	9	公害課	86
統計管理室	10	働く女性応援プロジェクト・チーム	1	公害調整課	49
生活統計室	3	老人福祉課	81	環境調整課	10
経済統計室	3	高齢者対策課	130	環境管理課	170
情報管理課	6	高齢者福祉課	234	環境政策室	12
空港対策室	11	長寿社会室	6	公害規制課	67
新空港建設推進事務局	10	高齢者福祉室	19	大気保全課	126
空港対策局	10	高齢者支援室	13	環境保全課	285
空港交通対策課	10	高齢者支援課	5	環境政策課	131
援護課	293	地域包括ケア・高齢者支援課	14	環境対策室	21
民生課	15	介護保険準備室	3	環境調整室	45
援護恩給室	3	介護保険推進事務局	17	自然環境保全室	1
社会援護室	6	介護保険指導室	53	自然環境課	39
社会援護課	20	介護保険課	19	水質保全課	116
厚生課	116	医療介護計画課	18	環境整備課	521
社会課	876	医療介護人材課	50	循環型社会推進室	17
福祉保健課	173	医療介護保険課	33	循環型社会課	3
福祉保健総務室	34	保険課	200	環境型社会推進室	1
健康福祉総務課	25	保険医療課	16	一般廃棄物対策室	6
福祉・企画管理室	7	国保医療室	22	産業廃棄物対策室	1
福祉指導課	137	医療保険室	16	産業廃棄物対策課	5
社会福祉課	280	医務課	460	商工課	283
同和対策室	610	医療対策課	147	商工観光課	238
同和対策課	801	医療・歯科保健室	3	商政課	177
人権施策室	30	医務看護室	4	商工・総務室	20
人権・男女共同参画室	19	健康増進・歯科保健室	3	商工労働総務室	6
人権男女共同参画課	6	医療対策室	14	商工労働総務課	43
福祉課	32	医療政策課	9	観光課	102
地域福祉室	104	医療保険課	22	通商観光課	29
地域福祉課	44	がん対策課	11	観光振興室	29
福祉指導室	25	ねんりんピック推進室	3	産業技術振興室	4

課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数
工業技術課	102	産業人材課	1	土地改良室	12
産業技術課	63	働き方改革推進・働く女性応援課	1	開拓課	1
計量検定所	2	農業経営課	14	農地開拓課	315
計量検定室	4	経済課	5	農業開拓課	7
新産業振興室	50	農政課	1,294	農業開発課	175
新産業課	9	農林企画課	67	生産基盤室	5
医工連携推進プロジェクト・チーム	2	農林・総務室	1	生活基盤室	27
地域産業振興室	22	農林水産部企画管理室	12	農村基盤室	8
産業政策課	1	農林水産部企画室	4	農林整備管理課	5
物流推進室	16	農林水産総務室	3	農業基盤課	51
立地・物流推進室	17	農林水産総務課	15	水産課	1,361
流通対策課	110	農業活性化推進室	5	水産漁港課	632
ひろしまブランド推進課	7	団体検査室	168	水産振興室	9
国際ビジネス促進室	4	団体検査課	266	漁業調整室	25
商業観光課	81	農業担い手支援課	34	漁港漁場整備室	9
商工振興課	166	就農支援課	15	林政課	1,005
観光交流課	35	企画調整室	4	林務政策課	73
指導課	13	経営構造室	11	林務管理室	21
商工指導課	80	経営企画室	29	林業経営課	1
中小企業課	539	農業経済課	816	林産課	390
中小企業指導課	112	農地経済課	245	林業振興課	435
金融課	294	農業改良課	238	林業振興室	18
商工金融課	188	農業経営室	8	林業課	30
商工金融室	19	農業経営発展課	1	森林保全室	7
経営指導室	5	農業技術課	156	森林保全課	415
経営支援室	172	技術振興室	28	森林整備室	41
経営支援課	24	農業振興課	573	治山課	398
経営革新課	48	農村対策課	301	治山室	22
工業振興課	45	農業振興室	1	自然保護課	200
企業立地課	172	園芸特産課	185	みどり景観室	61
立地政策室	15	農産園芸課	335	監理課	623
県内投資促進課	46	農業産地推進課	72	土木・総務室	22
海外ビジネス課	3	農産課	525	土木建築総務室	7
労政管理室	8	農産振興室	21	土木総務課	56
労働福祉室	2	農業販売戦略課	3	企画調査室	4
労政課	813	販売推進課	5	技術管理室	16
労政福祉課	97	食糧課	2	技術管理課	191
労政雇用課	20	食品流通課	117	技術企画課	13
勤労者福祉室	6	生産流通室	14	建設産業室	7
労働福祉課	3	食品流通安全室	5	建設産業課	6
雇用対策室	36	畜産課	1,136	技術総務室	21
雇用人材確保課	19	畜産振興室	53	技術指導室	2
雇用労働政策課	47	畜産環境室	38	用地課	34
福山商工労政事務所	11	農地防災課	1	道路維持課	141
職業安定課	427	農地課	24	道路整備課	97
職業訓練課	80	耕地課	1,439	道路課	175
職業能力開発課	48	農村整備課	202	道路建設課	256
職業能力開発室	27	農業活性化推進課	14	道路総務室	16
イノベーション推進チーム	9	農地保全室	7	道路企画室	20

課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数
河川課	981	開発総務課	57	廿日市福祉保健センター・廿日市保健所	2
河川管理室	3	総務課（企）	109	三原福祉保健センター・三原保健所	2
河川企画整備室	3	企業・総務室	9	広島地域事務所厚生環境局・広島地域保健所	36
道路河川管理室	5	企業総務課	12	広島地域事務所厚生環境局・広島地域保健所海田分室	11
道路河川管理課	47	経理課	43	呉地域事務所厚生環境局・呉地域保健所	66
河川開発室	4	開発分譲課	8	芸北地域事務所厚生環境局・芸北地域保健所	93
河川開発課	39	水道課	79	東広島地域事務所厚生環境局・東広島地域保健所	6
ダム建設室	3	水道管理室	3	尾三地域事務所厚生環境局・尾三地域保健所	58
ダム室	10	水道整備室	1	福山地域事務所厚生環境局・福山地域保健所	9
港湾課	798	県立病院課	24	備北地域事務所厚生環境局・備北地域保健所	72
広島みなとまちづくり推進室	13	県立病院管理室	13	西部厚生環境事務所・西部保健所	48
港湾振興室	23	県立病院室	6	西部厚生環境事務所広島支所・西部保健所広島支所	37
港湾管理室	10	広島復興事務所	1,058	西部厚生環境事務所呉支所・西部保健所呉支所	21
港湾企画整備室	8	安芸地方事務所	22	西部東厚生環境事務所・西部東保健所	4
港湾企画整備課	1	佐伯地方事務所	22	北部厚生環境事務所・北部保健所	1
港湾振興課	32	呉渉外労務管理事務所	177	福山児童相談所	10
港湾漁港整備課	15	江田島渉外労務管理事務所	8	福山こども家庭センター	7
砂防課	187	広島渉外労務管理事務所	46	県立総合精神保健福祉センター	15
新空港地域整備室	11	広島県引揚同胞更生会	237	食肉衛生検査所	5
空港対策課	47	呉地域事務所総務局	11	動物愛護センター	12
空港振興室	11	芸北地域事務所総務局	64	身体障害者更生相談所	18
空港振興課	5	東広島地域事務所総務局	13	呉高等技術専門校	20
計画課	451	福山地域事務所総務局	56	三次耕地出張所	3
都市計画課	458	備北地域事務所総務局	11	尾道農林事務所	31
都市総務室	21	西部総務事務所	1	福山農林事務所	18
都市総務課	2	西部総務事務所東広島支所	1	三次農林事務所	10
都市政策課	168	東部総務事務所	6	庄原農林事務所	12
都市企画室	59	北部総務事務所	46	甲山地域農業改良普及センター	2
都市企画課	11	尾道県税事務所	2	広島地域事務所農林局	3
開発指導室	1	福山県税事務所	1	呉地域事務所農林局	20
学園都市建設課	1	三次県税事務所	1	芸北地域事務所農林局	34
都市整備課	273	広島地域事務所税務局	9	東広島地域事務所農林局	1
都市整備室	67	呉地域事務所税務局	17	尾三地域事務所農林局	80
下水道課	111	芸北地域事務所税務局	6	福山地域事務所農林局	39
下水道室	21	東広島地域事務所税務局	25	備北地域事務所農林局	52
公園下水道課	106	尾三地域事務所税務局	1	備北地域事務所農林局庄原支局	46
建築課	257	福山地域事務所税務局	2	西部農林水産事務所呉農林事業所	10
建築指導室	3	備北地域事務所税務局	3		
住宅課	554	西部県税事務所廿日市分室	4		
住宅室	1	北部県税事務所	3		
住宅企画室	15	自治総合研修センター	1		
住宅管理室	1	食品工業技術センター	1		
営繕課	44	東部工業技術センター	1		
広島港建設課	2	林業技術センター	6		
土地開発課	1	呉保健所竹原支所	1		
開発課	166	廿日市保健所	4		
開発第一課	59	府中保健所	1		
開発第二課	30	大柿地域福祉保健センター・呉保健所大柿支所	2		
開発用地課	26				

課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数
西部農林水産事務所東広島農林事業所	22	広島港湾振興事務所	131	教委社会教育課	145
東部農林水産事務所	16	監査室	27	教委生涯学習課	10
東部農林水産事務所尾道農林事業所	26	審査室	27	教委文化課	16
北部農林水産事務所	108	監査委員事務局	1,131	教委文化財課	43
東部農業技術指導所	9	人事委員会事務局	95	教委保健体育課	75
北部農業技術指導所	1	人事委員会総務審査室	2	教委スポーツ振興課	2
西部畜産事務所	1	人事委員会総務審査課	3	教委スポーツ健康課	2
北部畜産事務所	3	地方労働委員会	89	教委学事課	4
県立農業技術大学校	5	労働委員会事務局	2	教委特別支援教育室	2
広島土木出張所	9	内水面漁場管理委員会事務局	1	教委特別支援教育課	14
広島土木建築事務所	152	広島海区漁業調整委員会事務局	20	教委安芸出張所	1
広島都市計画事務所	2	教育委員会	104	西部教育事務所芸北支所	1
呉建築出張所	5	教委総務課	229	尾三教育事務所	2
西条土木出張所	1	教委総務調査課	124	東部教育事務所	1
西条土木事務所	1	教委企画広報室	3	県立図書館	3
廿日市土木建築事務所	1	教委秘書広報室	4	県立歴史博物館	2
東広島土木建築事務所	1	教委教職員課	26	広島観音高等学校	20
芸北地域事務所建設局	1	教委施設課	143	大和高等学校	1
尾三地域事務所建設局	2	教委健康福利課	5	広島工業高等学校	138
福山地域事務所建設局	1	教委教育企画課	26	神辺高等学校	361
備北地域事務所建設局庄原支局	2	教委学校経営課	90	可部高等学校	94
備北地域事務所建設局上下支局	3	教委学校経営支援課	25	庄原格致高等学校口和分校	121
西部建設事務所廿日市支所	1	教委高校教育指導課	17	広大成同盟会	29
西部建設事務所安芸太田支所	17	教委指導課	69	広大推進本部	28
北部建設事務所庄原支所	5	教委指導第一課	99	県立広島大学三原キャンパス事務部	5
広島港事務所	5	教委指導第二課	17	県立広島大学庄原キャンパス事務部	5
広島港湾事務所	1	教委指導第三課	14	警察本部	1
		教委義務教育指導課	40		
		教委豊かな心育成課	7	総計	55,974

イ 完結年度別行政文書冊数

完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数
明治 17（1884）	1	大正 4（1915）	1	昭和 6（1931）	5	昭和 21（1946）	61
18（1885）	1	6（1917）	1	7（1932）	6	22（1947）	50
24（1891）	1	7（1918）	1	8（1933）	6	23（1948）	97
26（1893）	9	8（1919）	1	9（1934）	8	24（1949）	101
27（1894）	1	9（1920）	4	10（1935）	8	25（1950）	225
29（1896）	1	10（1921）	4	11（1936）	7	26（1951）	222
30（1897）	1	11（1922）	6	12（1937）	7	27（1952）	231
33（1900）	9	12（1923）	6	13（1938）	14	28（1953）	173
37（1904）	1	13（1924）	6	14（1939）	13	29（1954）	182
38（1905）	1	14（1925）	3	15（1940）	9	30（1955）	255
43（1910）	2	昭和元（1926）	8	16（1941）	21	31（1956）	499
44（1911）	1	2（1927）	8	17（1942）	17	32（1957）	478
大正元（1912）	19	3（1928）	6	18（1943）	16	33（1958）	572
2（1913）	3	4（1929）	5	19（1944）	20	34（1959）	742
3（1914）	2	5（1930）	7	20（1945）	26	35（1960）	898

完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数
昭和 36（1961）	918	昭和 51（1976）	668	平成 3（1991）	743	平成 18（2006）	666
37（1962）	825	52（1977）	1,116	4（1992）	700	19（2007）	533
38（1963）	1,046	53（1978）	1,001	5（1993）	849	20（2008）	586
39（1964）	963	54（1979）	810	6（1994）	863	21（2009）	524
40（1965）	758	55（1980）	683	7（1995）	2,183	22（2010）	777
41（1966）	862	56（1981）	719	8（1996）	827	23（2011）	891
42（1967）	1,141	57（1982）	870	9（1997）	1,238	24（2012）	439
43（1968）	1,292	58（1983）	771	10（1998）	1,340	25（2013）	214
44（1969）	1,095	59（1984）	696	11（1999）	1,046	26（2014）	210
45（1970）	1,402	60（1985）	735	12（2000）	1,637	27（2015）	181
46（1971）	1,180	61（1985）	554	13（2001）	1,138	28（2016）	3
47（1972）	1,177	62（1987）	687	14（2002）	1,160	29（2017）	15
48（1973）	1,411	63（1988）	723	15（2003）	776	30（2018）	2
49（1974）	1,299	平成元（1989）	601	16（2004）	655	年度不明	629
50（1975）	898	2（1990）	2,256	17（2005）	903	総計	55,974

ウ 令和 3 年度収集行政文書課別冊数

課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数
総務課	9	医療介護人材課	3	団体検査課	7	監査委員事務局	79
国際交流課	20	医療介護保険課	5	農業経営室	6	教委総務課	9
国際交流室	10	医務課	9	農業技術課	28	教委企画広報室	3
消防防災課	22	食品生活衛生課	11	農業販売戦略課	3	教委施設課	1
消防保安課	3	被爆者支援課	2	畜産課	1	教委学校経営課	4
経営企画チーム	21	環境保全課	1	水産課	3	教委学校経	7
分権改革課	5	自然環境課	9	森林保全課	6	教委高校指導教育課	2
地域力創造課	1	商工労働総務課	1	用地課	4	教委義務教育指導課	4
市町行財政課	44	観光課	1	河川課	2	教委豊かな心育成課	2
社会援護課	6	経営革新課	4	道路河川管理課	7	教委生涯学習課	3
地域福祉課	9	県内投資促進課	11	港湾振興課	4	教委文化財課	1
障害者支援課	12	雇用労働政策課	17	港湾漁港整備課	3	教委特別支援教育室	2
働く女性応援プロジェクトチーム	1	職業能力開発課	4	都市整備室	48	教委特別支援教育課	5
高齢者支援室	1	働き方改革推進・働く女性応援課	1	北部畜産事務所	3		
医療介護計画課	4	農林水産総務課	2	呉建築出張所	5		
				企業総務課	2	総計	503

(2) 行政文書（長期保存文書）

平成 24 年 4 月 1 日の広島県文書等管理規則改正に伴い、保存年限区分の「長期」が廃止され、最長保存期間が 30 年となった。また、規則改正前に保存年限を「長期」としていた文書等のうち完結後 30 年が経過したものについては、特別の理由がある場合を除き文書館長に引き渡すよう努めるものとされた。平成 25 年 4 月 1 日には広島県教育委員会事務局等文書管理規程が改正され、保存年限が「長期」である文書に関して、知事部局と同様の規定が設けられた。

令和 3 年度は長期保存文書の移管はなかった。令和 4 年 3 月 31 日現在、文書館で収蔵している長期保存文書は合計 8,311 冊で、その内訳は次のとおりである。

ア 移管長期保存文書課別冊数

課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数
県治課	4	公害規制課	6	河川課	359
庶務課	12	商工課	62	河川開発課	12
総務課	193	商工観光課	46	港湾課	1,169
文教課	15	商政課	3	砂防課	58
渉外課	8	観光課	1	計画課	18
外事課	8	工業技術課	186	都市計画課	28
秘書課	62	商工指導課	23	都市総務課	6
人事課	1	中小企業課	17	下水道課	2
財政課	309	金融課	35	建築課	75
消防防災課	100	労政課	57	住宅課	377
管財課	232	職業訓練課	77	営繕課	12
管財第一課	7	職業能力開発課	1	広島港建設課	2
管財第二課	1	農業経営課	83	開発課	32
福利課	78	農政課	244	開発第一課	12
企画広報課	2	農業経済課	77	開発用地課	28
企画課	68	農地経済課	17	開発総務課	9
土地対策課	6	農業改良課	35	経理課	25
交通対策課	23	農業技術課	16	水道課	31
地方課	351	農業振興課	5	県立病院課	9
市町村課	13	農村対策課	1	佐伯地方事務所	2
統計課	36	園芸特産課	4	江田島渉外労務管理事務所	1
民生課	2	農産園芸課	2	教委総務課	338
厚生課	23	農産課	1	教委総務調査課	5
社会課	62	食品流通課	9	教委教職員課	42
福祉課	2	畜産課	39	教委学校管理課	3
障害福祉課	21	農地課	2	教委義務教育課	4
児童課	50	耕地課	398	教委高校教育課	2
児童家庭課	93	農地開拓課	5	教委指導課	200
児童福祉課	45	農業開発課	19	教委指導第一課	2
青少年対策室	2	水産課	146	教委指導第二課	9
保険課	13	水産漁港課	1	教委義務教育指導課	3
医務課	180	林政課	184	教委社会教育課	17
環境衛生課	35	林産課	12	教委生涯学習課	28
予防課	47	治山課	227	教委文化課	111
公衆衛生課	138	自然保護課	2	教委学事課	8
原爆被爆者対策課	2	監理課	228	教委障害児教育室	3
薬務課	58	用地課	182		
公害課	16	道路維持課	470		
公害調整課	4	道路課	13		
環境調整課	1	道路建設課	10	総計	8,311

イ 完結年度別移管長期保存文書冊数

完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数
明治 41（1908）	1	昭和 17（1942）	4	昭和 35（1960）	192	昭和 53（1978）	426
42（1909）	1	18（1943）	4	36（1961）	206	54（1979）	74
43（1910）	1	19（1944）	1	37（1962）	243	55（1980）	43
大正 10（1921）	2	20（1945）	6	38（1963）	277	56（1981）	42
11（1922）	1	21（1946）	19	39（1964）	261	57（1982）	68
12（1923）	6	22（1947）	11	40（1965）	332	58（1983）	32
14（1925）	1	23（1948）	38	41（1966）	322	59（1984）	26
昭和 2（1927）	2	24（1949）	71	42（1967）	324	60（1985）	15
4（1929）	2	25（1950）	89	43（1968）	418	61（1985）	2
7（1932）	1	26（1951）	125	44（1969）	345	62（1987）	1
9（1934）	2	27（1952）	114	45（1970）	307	63（1988）	1
10（1935）	1	28（1953）	98	46（1971）	313	平成元（1989）	1
11（1936）	2	29（1954）	114	47（1972）	405	3（1991）	1
12（1937）	4	30（1955）	145	48（1973）	431	4（1992）	1
13（1938）	1	31（1956）	206	49（1974）	383	10（1998）	1
14（1939）	3	32（1957）	189	50（1975）	349	年度不明	133
15（1940）	3	33（1958）	179	51（1976）	342		
16（1941）	2	34（1959）	200	52（1977）	345	総 計	8,311

(3) 行政資料

令和 3 年度は 1,058 冊を収集し、181 冊を廃棄（図書への登録替え）した結果、累計は 111,739 冊となった。

年 度	広島県	市町村	国	その他	計	累 計
平成 24 年度まで	38,447	7,643	13,962	37,373	97,425	97,425
25 年度	1,155	211	323	1,322	3,011	100,436
26 年度	1,331	79	91	337	1,838	102,005
〃（廃棄等）	-168	-9	0	-92	-269	
27 年度	1,064	314	58	1,005	2,441	104,446
28 年度	1,216	191	47	458	1,912	106,342
〃（廃棄等）	-10	0	0	-6	-16	
29 年度	849	83	22	106	1,060	107,401
〃（廃棄等）	-1	0	0	0	-1	
30 年度	1,014	68	65	117	1,264	108,665
令和 元年度	922	137	21	191	1,271	109,936
2 年度	756	49	17	127	949	110,862
〃（廃棄等）	-13	-6	0	-4	-23	
3 年度	843	83	28	104	1,058	111,739
〃（廃棄等）	-81	-33	-7	-60	-181	
計	47,324	8,810	14,627	40,978	111,739	111,739

(4) 古文書

ア 原文書の収集

令和3年度は、4,540点の寄贈を受けた。この結果、収集総数は294,959点となった。

年度	文書群名等	点数 (推定)	寄贈・ 寄託 等	内 容
平成 22 年度まで	竹内家文書、橋本家文書、八田家文書、県議会文書、山野村役場文書、広島銀行「創業百年史」編纂資料、広島築港百年史編纂委員会資料、長船友則氏収集資料ほか	217,483	移管 寄託 寄託	割庄屋文書、商家文書、国会・銀行・地主文書、県議会議事録、明治～昭和役場文書、銀行史文書、港湾史編纂資料、中国地方鉄道・全国時刻表ほか
23年度	臼井家文書、堰水尾家文書、檜崎修策氏収集資料、林義孝氏所蔵資料、横路家文書、溝下家文書ほか	3,606	寄贈 寄託	農業日誌等、真宗經典類等、明治20年代『中国新聞』・『安芸津新報』等、縮景園内建造物復旧図面等、奴可郡田殿村鉄穴資料、牧場資料等、佐伯郡上平良村溝下家の証文、地券、証書など
24年度	児玉家文書、寺岡家文書、堀江家文書、林家文書、兼田文隆氏所蔵資料、薦田允彦氏収集文書ほか	6,675	寄贈 寄託	医師収集の和書、福山藩の村役人文書、恵蘇郡南村大宮八幡宮関係文書、陸軍大佐収集の和漢書、観光映画フィルム原版等、尾道町の文書など
25年度	小都勇二資料、佐々木要氏収集資料、高橋家文書、岡本克子氏収集資料、広島県傷痍軍人会資料ほか	12,322	寄贈 寄託	吉田町郷土史家収集資料、満州分村常金丸開拓団の文書、松永町製塩関係や上下田辺家分家の文書、高屋東村庄屋文書、解散団体資料など
26年度	藤原浩修氏所蔵文書、平野家文書、広島県信用組合六十年史編纂資料、森家文書、広島労音機関紙ほか	5,825	寄贈 寄託	社会運動家資料・文化運動刊行物等、世羅郡津口村の庄屋文書、銀行資料、高田郡秋山村の庄屋文書、戦後の音楽鑑賞団体機関誌など
27年度	高路家文書、栗栖家文書、清水高雄文書、谷口博資料、埜坂道子氏所蔵文書、松崎家文書ほか	3,111	寄贈 寄託	土地書類等、広島藩士知行目録等、日中戦争の「従軍手帳」、文書関係研究著作、病院職員の被爆資料、村会議員文書など
28年度	片山家文書、小砂家文書、玉谷家文書、吉川村役場文書、栗根家文書、町野家文書、高野虎市資料ほか	3,364	寄贈 寄託	和書・郷土図書・軸物、深津郡野上村・高宮郡下中野村・沼田郡久地村の庄屋文書、村役場の明治～昭和行政文書、広島藩士、チャップリンの秘書資料など
29年度	大藤家文書、荒木家文書、児玉家文書、高下家文書、小林家文書、福島家文書、佐々木家文書ほか	7,534	寄贈 寄託	広島藩士系図等、佐伯郡下河内村免状等、山県郡有田村医師和書、同郡下殿河内村のガラス乾板写真等、奴可郡保田村名寄帳等、沼田郡飯室村会議案等、呉市小学校教員資料など
30年度	和田家文書、多田家文書、三浦昇一資料、松田家文書、友久武文資料、楨林家文書、長船友則氏収集資料など	25,427	寄贈 寄託	佐伯郡割庄屋文書（大竹市重要文化財）、広島藩剣術師範文書、部落解放・労働運動・社会運動資料、農業経営帳簿、田植歌関係資料、醤油醸造業・酒造業資料、鉄道図書・写真集・スクラップ・絵葉書など
令和 元年度	宇吹暁氏所蔵文書（藤居平一資料）、牧村家文書、中曾家文書、土井作治氏所蔵文書、広島県退職校長会収集資料など	2,279	寄贈 寄託	原水禁運動関係資料、広島藩士文書、佐伯郡水内村長文書・教科書・和書・証文、広島県史など編さん関係資料、満蒙開拓青年義勇隊関係資料など

令和 2年度	藤原惣一収集文書, 上原区有文書, 渡辺家文書, 永井(操)家文書, 増 尾家文書, 廣重家文書など	2,793	寄贈 寄託	絵葉書, 庄屋文書などの地区共有文書, 庄屋文書, 満蒙開拓青年義勇隊関係資 料, 山陽製鉄所写真など
令和 3年度	茅ヶ崎市立図書館所蔵文書 (202101)	8	寄贈	巖島・泉邸等絵葉書
	豊嶋家文書(202102)	33	寄贈	巖島神社「高安流ワキ方」能楽師, 豊 嶋家が所蔵する戦前の能楽資料・写真
	斜森家文書(202103)	170	寄贈	小学校長斜森慶次郎が揮毫した書画
	原田家文書(202104)	338	寄贈	江戸～昭和期の典籍類など
	佐竹家文書(202105)	293	寄贈	甲奴郡有福村庄屋・戸長の証書類など
	小坂家文書(202106)	1,469	寄贈	山県郡上殿村長の日記や公文書など
	手島益雄文書(202107)	9	寄贈	『広島県偉人伝』の未定稿など
	知和静夫氏収集資料(202108)	20	寄贈	三次高校写真や切符・絵葉書
	沼田良平氏所蔵資料(202109)	102	寄贈	逋信万報
	島田家文書(202110)	290	寄贈	『広島日刊中国』・『広島日報』
	大岡家文書(202111)	1	寄贈	下張り文書(三谿高等小学校学生答案)
	住吉義級文書(202112)	3	寄贈	中国・ビルマのインパール作戦従軍記
	佐々木勝幸氏収集文書(200611)	517	寄贈	下張り文書(安芸郡城之堀家)
	橋本家文書(200804)	11	寄贈	典籍
	菅原範夫氏収集文書(201203)	1,227	寄贈	江戸期芸備文人の著作物・書画
	奥一浩氏所蔵文書(201823)	3	寄贈	『呉新聞』など
森岡家文書(201912)	46	寄贈	日記	
	計	4,540		
	計	294,959		

イ マイクロフィルムによる収集

令和3年度は新たな収集は行わなかった。収集総数は715,390点である。

年 度	文 書 群 名 等	所 在	コマ数
平成11年 度まで	防衛庁戦史部図書館, 阿蘇家文書, 竹鶴家文 書, 藤井家文書, 中垣家文書, 山野村役場文 書, 多田家文書ほか	東京都, 向島町, 竹原市, 豊町, 広 島市安佐北区, 県立文書館	628,677
12年度	防衛庁戦史部図書館, 大儀正夫氏収集文書, 国会図書館史料, 能美町教育委員会文書, 山 野村役場文書, 友近家文書, 竹内家文書	東京都, 広島市南区, 県立文書館, 佐伯郡能美町, 広島市安佐北区	53,053
13年度	原田家文書, 宮沖家文書, 秋本家文書, 山野 村役場文書, 細川家文書	広島市安佐北区, 佐伯郡能美町, 県 立文書館	9,352
14年度	防衛庁防衛研究所図書館史料, 米田家文書, 原田家文書, 「明治の令達」, 大崎町教育委 員会所蔵文書	東京都, 双三郡吉舎町, 広島市安佐 北区, 三原市, 豊田郡大崎町	5,233
15年度	国立公文書館史料, 「明治の令達」	東京都, 三原市	6,156
16年度	福原家文書, 天野家文書, 三上家文書, 近藤家文書, 鶴羽根神社文書	東広島市, 安芸高田市, 広島市東区	623
17年度	西養寺文書, 市立竹原書院図書館(複製)	竹原市	4,057

24年度	檜崎修策氏収集資料（安芸津新報・芸備日日新聞・中国新聞），広島県行政文書（特別調査一件など）	県立文書館	8,239
計			715,390

ウ デジタル化による収集

令和3年度は、当館が所蔵する行政文書のうち、利用頻度が高い広島市の戦災復興土地区画整理事業（西部復興）に係る換地図等のデジタル撮影を行った。

年 度	文 書 群 名 等	内 容	コマ数
平成 21 年 度	長船友則氏収集資料（200407）	広島市・三原市・福山市・呉市等地図 絵葉書	1,273 1,233
22 年度	木村恒氏旧蔵文書（200602）	幕末広島藩海防絵図	25
	三吉鼓家文書（199708）	はね踊りの図（山口素絢画）	5
	竹内家文書（198801）	四日市町並絵図	14
	竹内家文書（198801）	賀茂郡往還筋景色絵図	12
	山田家文書（198810）	広島城下絵図（享和元年）	11
	保田家文書（199603） 広島県広報写真	広島城下絵図（寛永年間） 広報用各種写真	61 74,580
23 年度	広島県移住史関係写真	広島県知事歓迎会写真	9
24 年度	行政文書中の写真	被爆直後と復興の様子，ほか	1,102
	厳島神社文書・野坂文書（県史複製資料）		7,281
	檜崎修策氏収集資料（201104）	安芸津新報・芸備日日新聞・中国新聞	3,338
28 年度	小野友五郎家文書（198909）	日記など	2,930
30 年度	行政文書	引揚者在外事実調査票	10,076
令和元年度	行政文書	引揚者在外事実調査票	8,828
平成 28～ 令和元年度	大阪朝日新聞・朝日新聞 （マイクロフィルム）	広島版など	30,636
令和 2 年度	中国新聞社所蔵マイクロフィッシュ	中国新聞	3,588
		夕刊ひろしま	354
	竹内家文書（198801）	沼田・賀茂郡村絵図	2
	重清家文書（198819）	高宮郡村絵図	1
	波多野家文書（199503）	世羅郡村絵図	51
	和田家文書（201804） 渡辺家文書（202007）	山県・佐伯郡村絵図 佐伯郡村絵図	70 1
令和 3 年度	行政文書	広島市の戦災復興土地区画整理事業（西部復興）に係る換地図等	3,498
計			148,979

2 整理

(1) 行政文書

行政文書は、完結後 30 年を目途に再選別を行い、保存することになった文書について、件名目録（文書一件ごと、すなわち各起案文書、收受文書ごとの目録）を作成し、簿冊ごとに概要を記述する。

令和 3 年度は、行政文書 10 冊の再選別を実施し、10 冊全ての保存を決定した。また、件名目録作成については、従来の作業に加えて、平成 16 年度以前の手書きで作成していた件名目録の電子データ化に着手し、合計 1,174 冊（件名入力数は 18,498 件）の整理を行った。

入力区分	整理点数	(登録数)	(データ化数)
概要・件名入力をした簿冊数	1,174	136	1,038
件名入力数	18,498	6,462	12,036

(2) 行政資料

行政資料については、各課の資料について行政情報コーナーを通じて収集したもの、廃棄予定文書の中から収集したもの、当館に送付されてきたものなどを発行主体別に整理した。

区 分	整理点数
広島県発行	843
市町村発行	83
国発行	28
その他発行	104
計	1,058

(3) 古文書

令和 3 年度は、次の文書群について整理とデータベースへの入力を行った。

群番号	文 書 群 名 等	整理点数	データ件数
198803	安芸国賀茂郡上保田村 平賀家文書	430	450
198912	広島県山県郡 芸北町役場収集文書	1	2
199509	安芸国賀茂郡国近森近村 木原家文書	400	581
200611	広島県安芸郡熊野町 佐々木勝幸氏収集文書	479	479
201622	広島市 高野虎市資料	0	9
201823	広島市 奥一浩氏所蔵文書	3	3
201912	広島県三次市 森岡家文書	46	46
201917	安芸国佐伯郡草津村 永岡家文書	484	545
202012	広島市 増尾家文書	34	34
202013	広島県大竹市 廣重家文書	30	30
202102	安芸国佐伯郡厳島 豊嶋家文書	33	33
202104	広島県三次郡三次町 原田家文書	338	358
202107	東京都 手島益雄文書	9	9
202108	東京都武蔵野市 知和静夫氏収集資料	20	20
202109	広島市 沼田良平氏所蔵資料	102	213
	計	2,409	2,812

※ 整理点数とデータ入力件数が一致しないのは、集合資料 1 点の内訳を入力する場合があったり、逆に複数の資料を 1 つのレコードでまとめて入力したりすることによる。

(4) 複製資料

開館後にマイクロフィルム等により撮影した複製資料について、令和 3 年度は整理の準備作業を行い、データベースへの入力を行わなかった。

(5) データベースシステム

「広島県立文書館データベースシステム」（令和 3 年 3 月 1 日公開）の資料検索の利便性を高めるため、令和 3 年度は国立公文書館及び広島県立図書館の横断検索システムとの連携を行った。また、閲覧室や研修・会議室の WiFi 環境を整備し、閲覧室に利用者用パソコン 2 台を設置するとともに、閲覧室にカラー複写機を設置した。「広島県立文書館データベースシステム」の、令和 4 年 3 月 31 日現在の公開件数は次のとおりである。

データベース名	公開件数	内 容
行政文書（簿冊）データベース	59,149	広島県が作成した行政文書のうち、歴史的に重要な文書として選別し、当館で保存する文書（簿冊）の目録
行政文書（件名）データベース	13	行政文書の簿冊に含まれる個々の文書の件名目録
文書群データベース	574	古文書や複製資料の文書群に関する情報
収蔵資料データベース（古文書、行政資料、図書等）	309,843	当館が収蔵する古文書、複製資料、行政資料（行政刊行物）、図書、論文抜刷の目録
県通達類データベース	37,323	戦前に広島県が町村に発出した通達類（市町村の行政文書の複製資料）の目録
県報データベース	24,823	明治時代初期から現代までの広島県の公報（布達類、県報）の件名目録
画像データベース	1,221	古文書等に含まれる絵葉書や絵図等の画像
県広報写真等データベース	165	広島県の広報写真や、行政文書中に含まれる写真
計	433,111	

3 保 存

(1) 殺虫殺菌処置

ア 燻蒸処置

9月13日(月)から15日(水)まで業者の燻蒸室において、次の文書について、業者委託によりエキヒュームS(酸化エチレンガス)による燻蒸を実施した。

文書群名など(登録番号)	箱数など
行政文書	11 個口(段ボール箱)
菅原範夫氏収集文書(201203)	32 個口(段ボール箱・屏風・ファイル)
永井(操)家文書(202008)	36 個口(段ボール箱)
増尾家文書(202012)・茅ヶ崎市立図書館所蔵文書(202101)	1 個口(文書保存箱)
斜森家文書(202103)	2 個口(文書保存箱)
原田家文書(202104)	5 個口(段ボール)
小坂家文書(202106)	19 個口(木箱・籠・段ボール箱)
森岡家文書(201912)・手島益雄文書(202107)	1 個口(文書保存箱)
県立図書館郷土資料	46 個口(段ボール箱)
計	153 個口

イ 低温殺虫処置

令和4年3月15日(火)から3月末まで、栗本家文書(202201, 段ボール箱15箱分)を大型冷凍庫により低温殺虫処置した。

(2) 書庫の保存環境改善

平成28年に判明した第5書庫のカビ被害への対処は令和2年度に終了したが、今年度も虫菌害の予防に重点をおき、IPM(総合的有害生物管理)に基づく保存環境管理を行って、各書庫の環境改善に努めた。

ア 虫菌害の回避

① 書庫の温湿度管理

館内の書庫等の温湿度は、各書庫・マイクロ保管庫・展示室・旧消毒室・荷解室及び観音書庫・白木書庫に設置した計26台のデータロガーで計測して管理した。毎朝、担当者が各書庫内を巡回して、温湿度の計測値を記録し、計測結果を業務日誌に記載した。また、毎週月曜日に、担当者が各書庫の温湿度を計測し、定期的(カビの発生した第5書庫は週に1回、その他の書庫は月に1回)に採取した温湿度データを1か月ごとにまとめて回覧して、職員間で情報共有した。データロガーを設置していない場所(書庫の隅、湿気がたまりやすい場所など)の温湿度は、ハンディデジタル温湿度計で計測し、湿度の高い場所の把握と除湿対策に活用した。

また、館内の各書庫の空調管理を担当する広島県情報プラザ中央監視室とも連携し、温湿度の計測値に急激な変化や不自然な上昇などがあった場合には、双方で協議を行い、空調の温度設定を調節して、適切な温湿度の維持に努めた。

令和3年度の館内各書庫の相対湿度は60%以下に保たれており、新たなカビの発生は見られなかった。

今年度は、老朽化した各書庫の空調設備更新工事のため、令和4年1月31日から2月20日まで空調の送風が停止され、2月24日から3月10日まで、更新された空調設備の試運転が実施された。更新工事と試運転期間中は、データロガーで各書庫の温湿度のモニタリングを行い、温湿度の変動を確認した。

② 書庫内の除湿と通風促進

書庫内の除湿対策として、第5書庫では、業務用大型除湿機1台と家庭用除湿機1台を設置して、湿度が上昇する6月から11月まで24時間稼働させた。マイクロ保管庫と第5書庫の前室にも業務用大型除湿機を設置し、温湿度の状況を確認しながら5月から11月まで稼働させた。大型除湿機の稼働前には、除湿機からの水漏れ予防として、除湿機の下に敷く防水フローア（トレイ）の交換を行った。温湿度が安定している第1書庫と第3書庫では、6月から11月まで家庭用除湿機を稼働させた。

また、書庫内の通風促進対策として、第5書庫では、通路に大型サーキュレーター3台・小型サーキュレーター2台を設置し、通年24時間稼働させた。集密書架のレーンは、常に等間隔に開け、書架の開披も時々行って、書庫内の空気循環を促した。第4書庫と書庫前室でも大型サーキュレーターを稼働させて、空気のよどみを予防した。第2書庫（複製資料庫）では書庫奥側の湿度が高いため、奥側のレーンを常時開けて、小型サーキュレーターで送風を行った。

外気の影響を受けて温湿度の変動が激しい荷解整理室では3月から除湿機の稼働を開始し、6月から12月まで業務用大型除湿機5台を24時間稼働させ、令和4年3月から再び稼働させた。空調設備の運転が止まる夜間と休日には、エアコン2台をタイマーで稼働させて、室内の湿度を60%以下に保つように努めた。エアコンの設定温度は、温湿度の状態を確認しながら調節した。

③ 書庫の整理と清掃の実施

今年度も、毎週水曜日午前10時から12時までを書庫整理の時間とし、毎回職員6～8名が参加して、各書庫内の文書の配架移動、書架の棚と床等の清掃を行った。文書や書架などの清掃にはHEPAフィルター付掃除機を使用し、書架の棚はハンディモップで埃などを除去して、消毒用エタノールでの拭き掃除も行った。コロナ対策の緊急事態宣言等による休館期間（令和3年5月～6月、8月～9月、令和4年1月～2月）は、書庫整理と清掃を中止した。

書庫環境を清潔に保つため、書庫入口に書架の棚と床清掃用のモップを常備し、書庫前室や各書庫内の通路の拭き掃除も適宜行った。12月15日・22日には、職員全員で書庫内の大掃除を実施した。

各書庫に配置した除湿機・空気清浄機は、稼働前の5月と稼働終了後の11月に点検し、フィルターなどの清掃や交換など、必要なメンテナンスを行った。

イ 虫菌の遮断（虫菌の侵入防止）

第5書庫内では、空気清浄機4台を稼働させて、新たなカビの原因となる浮遊菌を除去した。第2書庫（複製資料庫）以外は土足厳禁とし、靴底やブックトラックのタイヤ等に付着した汚れを書庫内に持ち込まないように、各書庫の入口に粘着マットを設置して、汚れたシートは1週間に1度交換した。

また、虫の侵入防止のために各書庫の入口ドアに設置している隙間ブラシや隙間テープは、破損や汚れがないか目視で点検し、隙間ブラシの汚れは掃除機で清掃し、劣化している隙間テープの貼り替えも行った。書庫入口扉の開閉は必要最小限とし、各書庫入口には除菌スプレーを常備して、清潔な手で文書を扱えるように配慮した。

館内への虫の侵入防止のため、事務室や廊下の窓の開閉も制限した。

ウ 虫菌害の発見と対処

① 虫トラップによる害虫モニタリング

書庫内 35 か所に設置した虫トラップによる害虫モニタリング調査も継続して実施し、毎週月曜日に各トラップの虫の捕獲数と種類を担当者が確認して、業務日誌に記載した。文化財害虫の捕獲があった場所や、虫の捕獲数が増えた場所では、トラップ周辺の状態を確認し、虫の侵入経路となる入口ドアの隙間テープの貼り替えや、虫の巣となりそうな入口付近の不用な段ボールの処分、トラップ周辺の床の清掃などを行った。モニタリングの結果は月ごとに集計し、虫の捕獲数と種類を館内の平面図にまとめて回覧し、館内で情報を共有した。

12 月には第 5 書庫内のトラップに文化財害虫（シミ）が 2 週連続して捕獲されていたため、書架の周辺を点検して清掃し、虫トラップを 5 か所増設して、モニタリングを継続しているが、シミなどの文化財害虫の新たな捕獲はみられなかった。

② 新規受入文書への対処

新規に受け入れた文書は荷解室に別置き、目視で状態をチェックして、カビや虫害が確認できた文書については、業者委託による薬剤（エキヒューム S）による殺虫・殺菌燻蒸を実施した。虫害への対処としては、令和 4 年 3 月に職員による大型冷凍庫での低温殺虫処置も行った。

燻蒸後の文書はドライクリーニングを行い、虫菌や埃塵のない清潔な状態にして書庫に搬入した。文書の保存箱には防虫剤（エコミューア F T プレート）を入れて、書架に配架した。

エ 観音書庫と白木書庫の環境管理

中間書庫の保存環境を把握するため、観音書庫と白木書庫に設置したデータロガーで温湿度のモニタリングを継続し、定期的（年 8 回）にデータを採取して確認した。白木書庫のデータロガー子機の電池交換（令和 4 年 1 月）も行った。

オ マイクロフィルム保管庫の環境管理

マイクロ保管庫では、湿度を下げるために除湿機を使用しているが、夏季の除湿機稼働は室内の温度上昇を招くため、除湿機の稼働を調節して、安定した温湿度を保てるように努めた。令和 3 年に導入した高性能ケミカルフィルター装着の大型空気清浄機（フレッシュオドコップ MF）の稼働により、保管庫内の酢酸臭は大幅に軽減し、保存環境が改善されつつある。

フィルムのビネガーシンドローム対策として、キャビネット内に入れている吸湿剤（シリカゲル）、酢酸吸着シートの交換も、適宜行った。

今年度はマイクロ保管庫に集密書架を設置し、キャビネットや資料の配置替えも行った。

(4) フィルム

広島県史編さん室が撮影した写真フィルム、又は当館が開館後に撮影したマイクロフィルムや短尺フィルムなどのうち、PET ベースフィルムはビネガーシンドロームにより劣化が進んでいるものが少なくない。中には、現在では再撮影などが困難なものも含まれるため、平成 29 年度にフィルムスキャナーを購入し、デジタル化による複製作成を開始した。令和 3 年度は次のマイクロフィルムについて実施した。

市町村名（撮影当時）	文書群数	フィルム本数（コマ数）
福山市	1	1（394 コマ）
東京都	1	8（4,114 コマ）
世羅郡甲山町	12	2（1,009 コマ）
沼隈郡内海町	8	3（756 コマ）
深安郡神辺町	3	2（624 コマ）
計	25	16（6,897 コマ）

※ フィルムはいずれも短尺フィルムをつないでロール状にしたもの。

4 利 用

(1) 総括表

年 度	開館日数	来館者数	内 容					利用券 発行数
	(日)	(人)	閱 覧	利用相談等	見 学	展示観覧	講座等	
令和2年度まで	9,416	157,521	33,330	12,014	5,071	49,639	57,467	7,334
令和3年4月	25	188	63	32	1	92	0	22
5月	3	21	10	1	0	10	0	3
6月	9	67	36	15	0	0	16	12
7月	25	310	82	32	0	127	69	36
8月	0	6	6	0	0	0	0	1
9月	0	7	7	0	0	0	0	1
10月	26	273	112	26	0	110	25	53
11月	24	214	96	23	0	67	28	39
12月	23	192	85	29	1	77	0	30
令和4年1月	4	11	10	1	0	0	0	2
2月	0	12	10	2	0	0	0	0
3月	21	117	88	11	0	18	0	48
令和3年度計	160	1,418	605	172	2	501	138	247
計	9,576	158,939	33,935	12,186	5,073	50,140	57,605	7,581

※ 令和3年5月8日(土)～6月19日(土)、8月2日(月)～9月30日(木)、令和4年1月11日(火)～3月5日(土)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館した。

(2) 文書の出納・複写状況

年 度	総 数 (冊)	内 訳						複写枚数(枚)
		行政文書	行政資料	図書等	開架図書	古文書	複製資料	
令和2年度まで	192,696	15,689(3,955)	3,474	26,899	5,789	86,612	54,233	505,017
令和3年4月	448	12(5)	37	4	17	208	170	338(182)
5月	31	2(0)	0	1	1	27	0	1(27)
6月	230	23(4)	1	1	19	167	19	560(34)
7月	804	38(18)	8	15	20	592	131	840(10)
8月	126	33(33)	0	0	0	93	0	0(2)
9月	34	34(34)	0	0	0	0	0	1(13)
10月	855	74(39)	5	12	59	546	159	533(27)
11月	886	81(11)	9	15	77	584	120	228(1)
12月	1,301	85(22)	24	7	108	756	321	1,208(1)
令和4年1月	292	25(25)	0	0	1	265	1	8,162(3)
2月	35	21(21)	13	0	0	1	0	14(48)
3月	1,117	46(13)	30	9	66	742	224	391(152)
令和3年度計	6,159	474(225)	127	64	368	3,981	1,145	12,276(500)
計	198,855	16,163(4,180)	3,601	26,963	6,157	90,593	55,378	517,293

※ 行政文書欄の()は、県職員の利用を内数で示した。複写枚数欄の()は、デジタルデータの複写申請があったデータ数を外数で示した。

(3) 地域別利用券発行状況

(単位：人・%)

区 分		平成 30 年度まで	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	計	割 合
県 内	広島市内	3,275	154	171	126	3,726	49.1
	広島市外	1,892	58	69	57	2,076	27.4
	計	5,167	212	240	183	5,802	76.5
県 外		1,566	72	53	64	1,755	23.2
外 国		22	2	0	0	24	0.3
計		6,755	286	293	247	7,581	100.0

(4) 職業別利用券発行者数

(単位：人・%)

区 分		平成 30 年度まで	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	計	割 合
会社員		1,112	58	68	26	1,264	16.7
自営業(農業を含む)		221	18	25	18	282	3.7
公務員		840	27	44	28	939	12.4
小中高校教員		186	5	3	4	198	2.6
大学教員		867	33	24	26	950	12.5
学生		876	26	21	28	951	12.5
大学院生		453	9	11	13	486	6.4
無職(不明を含む)		2,200	110	97	104	2,511	33.2
計		6,755	286	293	247	7,581	100.0

(5) 年代別・男女別利用券発行者数

(単位：人・%)

区 分		平成 30 年度まで		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度		計		割 合
10 歳 ～	男	60	130	1	1	4	5	1	4	66	140	1.8
	女	70		0		1		3		74		
20 歳 ～	男	907	1,456	25	44	25	39	25	41	982	1,580	20.9
	女	549		19		14		16		598		
30 歳 ～	男	857	1,031	29	35	33	46	13	21	932	1,133	14.9
	女	174		6		13		8		201		
40 歳 ～	男	823	1,049	45	58	38	51	24	32	930	1,190	15.7
	女	226		13		13		8		260		
50 歳 ～	男	745	928	37	49	37	52	27	37	846	1,066	14.1
	女	183		12		15		10		220		
60 歳 ～	男	1,087	1,215	33	37	41	52	40	50	1,201	1,354	17.9
	女	128		4		11		10		153		
70 歳 ～	男	842	896	57	61	41	47	52	60	992	1,064	14.0
	女	54		4		6		8		72		
不 明	男	38	50	0	1	1	1	1	2	40	54	0.7
	女	12		1		0		1		14		
計	男	5,359	6,755	227	286	220	293	183	247	5,989	7,581	100.0
	女	1,396		59		73		64		1,592		

(6) 文書の貸出し（展示のみ）

- ア （公財）広島市文化財団 広島市郷土資料館（企画展「沸き立つ！昭和39年－57年前の広島」）
令和3年5月15日（土）～7月11日（日）〔行政文書3点〕
- イ 佐野常民と三重津海軍所の歴史館（リニューアルオープン企画展「巨艦艦ヲ列ヌ三重津―海軍取調方佐野常民」） 令和3年9月25日（土）～11月14日（日）〔小野友五郎家文書1点〕
- ウ 広島県立歴史民俗資料館（秋の特別企画展「江戸時代の子ども事情―幼き者へのまなざし―」）
令和3年10月8日（金）～11月28日（日）〔竹内家文書（198801）4点，平賀家文書（198803）7点，橋本家文書（198806）1点，尼子家文書（198809）1点，延藤家文書（199110）1点，保田（義）家文書（199808）1点〕
- エ （広島県立歴史博物館分館）頼山陽史跡資料館（企画展「ひろしま紙ものがたり」）令和3年10月21日（木）～12月12日（日）〔野坂家文書（198802）1点，平賀家文書（198803）1点，山田家文書（198810）1点，千葉家文書（198812）2点，原家文書（199710）1点，保田（義）家文書（199808）2点，青木茂氏旧蔵文書（200004）4点，横路家文書（201107）2点，和田家文書（201804）12点〕
- オ （公財）広島市文化財団 広島城（企画展「江戸の旅と愉しみ」）令和3年10月1日（金）～11月17日（水）〔竹内家文書（198801）2点，野坂家文書（198802）2点，千葉家文書（198812）1点，保田（義）家文書（199808）2点〕

(7) 出版物等への掲載許可

当館収蔵資料 33 件（380 点）について出版物等への掲載を許可した。内訳は次のとおりである。

申請者分類	件数	点数
マスコミ（新聞・テレビ等）	8	17
行政機関（公立博物館・自治体史等）	11	311
個人	7	43
出版社	2	3
その他（企業・団体等）	5	6
計	33	380

(8) レファレンスサービス

当館の受付カウンターで直接質問を受けるほか、手紙・電話・ファクス・電子メールなどの依頼を受けて、必要な情報や文書資料・文献の提供を行っている。

(1)の受付カウンターでの「利用相談」以外に、手紙・電話・ファクス・電子メールなどによる令和3年度のレファレンスサービスの総数は483件であった。

(9) ホームページのアクセス数

令和3年度のホームページの延べアクセス件数は、89,011件であった。内訳は次のとおりである。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
アクセス件数	6,595	12,125	7,108	8,250	6,968	7,756	6,949	6,244	6,676	6,693	6,619	7,028	89,011

5 展示・普及啓発

郷土の歴史に関する学習の機会を提供するとともに、文書等資料の歴史的価値についての認識を深めるため、次の事業を実施した。

(1) 展 示

ア 収蔵文書展

テ ー マ	担 当	期 間	日 数	点 数	観覧者数
資料からみた広島県庁舎の歴史 ※1	荒 木	令和3年3月29日(月) ～令和3年5月7日(金)	31日間	72点	111名
チャップリンの日本人秘書 高野虎市-「コーノ」に寄せられた期待-	西 村	令和4年3月29日(火) ～令和4年6月11日(土)	61日間	111点 ※2	325名

※1 令和3年3月29日(月)～6月12日(土)に開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため5月8日(土)から臨時休館としたことにより、5月7日(金)で打ち切りとなった。

※2 展示点数は文書資料以外の、パネル写真や、カバンや遺品類などのモノ資料も含む。

イ 常設展(収蔵文書の紹介)

常設展では、次のテーマで収蔵文書の紹介を行った。

テ ー マ	担 当	期 間	日 数	点 数	観覧者数
写真展 広島駅の歴史	西 向	令和3年7月6日(火) ～31日(土), 10月1日 (金)～12月27日(月)	94日間	54点 ※	381名

※ 展示点数はパネル写真なども含む。展示観覧者数は、持ち帰られた展示図録の数をもとにしている。

ウ その他

令和3年度は、常設展の期間中に行う説明パネルの展示は行わなかった。

(2) 講演会

収蔵文書展にちなんだ講演会を毎年実施しているが、令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため実施しなかった。

(3) 古文書解読講座の開催

ア 古文書解読入門講座

16名を対象として、令和3年6月26日から11月20日までの第2・第4土曜日(8月・9月を除く、午前10時から12時まで)、全7回開催した。4回以上(当初は5回以上の予定)の出席者14名に修了証書を授与した。

回	月 日	担 当	内 容
1	6月26日	西 村	ガイダンス, 古文書解読の基礎知識
2	7月10日	西 村	近世武家文書「武家諸法度」
3	7月24日	西 村	古文書取扱講習, 文書館業務説明, 文書館見学
4	10月9日	西 向	近世「竹原商家の商売規則」
5	10月23日	西 向	近世「尾道湊の文書」
6	—	西 向	近世「瀬戸内廻船の文書」(資料配付のみ)
7	11月6日	西 村	近世「広島の安政地震の記録」
8	11月20日	西 村	近代「廃藩置県と武一騒動」, 修了式

※ 募集時には、6月12日から10月23日までの第2・第4土曜日（7月24日と8月14日を除く）、全8回の予定であったが、新型コロナウイルスの緊急事態宣言により当館が臨時休館となったため開講は6月26日となった。また、第4回は開講時には8月28日の予定であったが、当館の臨時休館に伴い9月25日に、さらに休館延長により10月9日に延長となった。これに伴い第6回は行わず資料配付のみとした。期間を延長し、11月20日に第8回と修了式を行った。

イ 続古文書解読入門講座

令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため実施しなかった。

(4) 行政文書・古文書保存管理講習会（広文協との共催）

歴史資料として重要な行政文書及び古文書などの散逸防止、適正な管理及びその利用に関して、市町等の職員を対象に、毎年実施しているが、令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため実施しなかった。

(5) 大学等学外実習

ア 安田女子大学「古文書学実習」の学外実習

令和3年8月4日（水）に予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため延期を重ね、結局実施しなかった。

イ 比治山大学「博物館資料保存論」授業

令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため実施しなかった。

ウ 県立広島大学「博物館資料保存論」授業

令和4年2月9日（水）に予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため実施しなかった。

(6) 連携事業（県立広島大学・広島県立図書館・広島県立文書館連携公開講座）

令和3年7月2日から16日までの金曜日（午前10時30分から12時まで）、「日本文化における宴」を統一テーマとして、当館研修会議室において、3回連続の公開講座を開催した。なお、第2回講座開始前の15分間、利用案内・展示案内などの文書館ガイダンスを行った。

回	月 日	講 師	内 容	参加者
1	7月2日	地域創生学部教授 西本寮子	王朝貴族と宴―「この世をば」の歌を手がかりとして―	14名
2	7月9日	地域創生学部准教授 目黒将史	中世の物語における「宴」を読む	7名
3	7月16日	地域創生学部教授 鈴木康之	出土資料が示す日本中世の「宴」	13名

(7) 「広島県立文書館だより」第46号の発行（令和4年3月9日）

内 容			
【表紙】	広島駅三代の変遷	主任研究員	西 向 宏 介
【収蔵資料紹介】	「事務報告書」から見えること	研究員	新 原 淳 弘
【閲覧室から】	広島市の戦災復興土地区画整理事業（西部復興）に係る換地図等の電子データ化	総括研究員	荒 木 清 二
【収蔵文書展に寄せて】			

	高野虎市に寄せられた期待			
	—チャップリンの日本人秘書—	研究員(エルダー)	西	村 晃
【その他】	令和二年度に収集した古文書			
	令和二年度の主なできごと			

(8) 第 16 回中国四国地区アーカイブズウィーク (6月 1 日～7 日)

第 16 回中国四国地区アーカイブズウィークに参加したが、この期間は新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため休館中であったため、行事を行うことはできなかった。

6 研究・研修・調査

(1) 研究

ア 『広島県立文書館紀要』第16号の発行（令和4年3月31日）

主として平成20年度以降の館の取組や研究成果を『広島県立文書館紀要』第16号としてまとめ、ホームページに掲載した。（印刷製本は次年度）

内 容		
【文書館業務論】		
行政文書の評価選別・再考		
一文書管理，庁舎移転とコロナ対応をめぐって―	研究員	新原 淳 弘
学生と取り組む文書の保存と補修の実習		
―大学学外実習・インターンシップの受け入れを例として―	従事員	下向井 祐 子
広島県立文書館における紙資料のための保存容器の活用		
―資料の形態にそった固定箱の作成を一例として―	従事員	高 原 知 江
【史料研究】		
近世尾道商人の系譜と展開		
―橋本家文書の基礎的考察―	主任研究員	西 向 宏 介
広島藩「配知目録」についての諸考察	従事員	石 川 良 枝

イ 資料集第11集の印刷製本と第12集の原本校合

令和2年度に発行した『村上家乗 安政元年・二年』（広島県立文書館資料集第11集）を印刷製本した（令和3年5月31日）。

古文書解読同好会に所属する有志が解読した「村上家乗」嘉永五年・六年（広島大学文学部日本史研究室所蔵）を，令和4年3月3日に，広島大学文学部日本史研究室で原本校合を行った。（発行は令和4年度の予定）

(2) 研修・会議への参加・報告

ア 広島県教育委員会文化財課主催 令和3年度市町文化財行政担当者会議（1名）

令和3年5月28日（金） オンライン(Zoom)を活用しての参加

イ 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会総会（2名）

令和3年6月8日（火） オンライン(Zoom)を活用しての参加

ウ 全国公文書館長会議（1名）

令和3年6月9日（水）～10日（木） オンライン(Zoom)を活用しての参加

エ 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会関東部会総会・記念講演会（1名）

令和3年6月11日（金） オンライン(Zoom)を活用しての参加

オ (一財)行政管理研究センター「公文書管理セミナー」（2名）

令和3年7月2日（金） オンライン(Zoom)を活用しての参加

カ 廿日市市教育委員会生涯学習課「廿日市市文化財保存活用地域計画協議会」（1名）

令和3年7月27日（火） 廿日市市役所

令和3年12月21日(火) 廿日市市文化ホールウッドワンさくらびあ

- キ 広島歴史資料ネットワーク 現地説明会「西日本豪雨で被災した古文書を救え！」打合せ(2名)
令和3年8月19日(木) オンライン(Zoom)を活用しての参加
- ク 国立公文書館「令和3年度アーカイブズ研修Ⅰ(初任者研修)」(1名)
令和3年8月23日(月)～27日(金) 朝日生命大手町ビル(東京都) オンライン(Zoom)を活用しての参加
- ケ 広島市市民局文化スポーツ部文化振興課「広島城の展示整備に関する懇談会」(1名)
令和3年8月25日(水)・11月1日(月)・12月27日(月), 令和4年3月22日(火)
広島市役所
- コ 広島歴史資料ネットワーク 現地説明会「西日本豪雨で被災した古文書を救え！」(5名)
令和3年10月3日(日) 広島市瀬野公民館
報告: 下向井祐子(従事員)「平成30年7月豪雨で被災した文書を救うー榎林家文書のレスキューと保全活動ー」
西向宏介(主任研究員)「近世の下瀬野村榎林家と醤油醸造」
- サ 「令和3年度中国・四国地区文書館等職員連絡会議」(1名)
令和3年10月21日(木) 徳島県立二十一世紀館イベントホール オンライン(Zoom)を活用しての参加
- シ 大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国文学研究資料館「2021年度アーカイブズ・カレッジ(史料管理学研修会)短期コース」(1名)
令和3年11月8日(月)～11月13日(土) 松江市市民活動センター(松江市)など
- ス 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会「第47回全国(高知)大会及び研修会」(2名)
令和3年11月18日(木)・19日(金) 高知県立公文書館(高知市) オンライン(Zoom)を活用しての参加
- セ 東広島市史編さん委員会(1名)
令和4年2月4日(金) 東広島市役所 オンライン(Zoom)を活用しての参加
- ソ 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会「2021年度公文書館機能普及セミナー in 岡山「地域の歴史を後世に伝えるために」」(1名)
令和4年2月8日(火) オルガホール(岡山市) オンライン(Zoom)を活用しての参加
- タ 第8回全国史料ネット研究交流集会(4名)
令和4年2月19日(土)～20日(日) オンライン(Zoom)を活用しての参加
報告: 西村 晃(研究員(エルダー))「広島史料ネット再組織に思う」
三浦 忍(文書調査員)「文書調査員としての実践についての報告」
- チ 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会関東部会 第305回定例研究会(1名)
令和4年3月4日(金) オンライン(Zoom)を活用しての参加
- ツ 第25回常民文化研究講座 古文書修復実習(1名)
令和4年3月7日(月) オンライン(Zoom)を活用しての参加

7 その他

(1) 広島県市町公文書等保存活用連絡協議会（広文協）事務局

ア 総会の開催

令和3年5月28日（金）に予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止し、書面議決により議案が承認された。

イ 役員会の開催

令和3年5月28日（金）と11月30日（火）に予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止し、書面議決により協議した。

ウ 行政文書・古文書保存管理講習会の開催（県立文書館と共催）

令和3年11月30日（火）に予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため実施しなかった。

エ 研修会の開催

令和3年10月上旬に、山県郡北広島町を会場として予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため実施しなかった。

オ 会報（『広文協通信』）の発行

第40・41合併号 令和4年3月31日（木）発行

高野 遥氏「雑誌『たちばな』の収集と保管について」ほか

8 業務日誌

- 4月1日(木) 木下館長, 新原研究員, 宇都宮主任(エルダー), 高原・武田従事員着任
- 4月8日(木) 観音書庫・白木書庫視察(木下・荒木・新原・宇都宮), 両書庫で温湿度データを採取(以後, 5月18日, 6月29日, 8月6日, 9月21日, 10月29日, 12月14日, 1月26日, 3月2日に採取, 荒木・新原)
- 4月12日(月) 大竹市企画財政課職員3名が大竹市史編さん事業について相談のため来館(西向)
- 4月14日(水) 昨年度に製本した新聞資料を閲覧室へ開架
- 4月16日(金) 中国新聞記者が「広島銀行「創業百年史」編纂資料」について取材(西向, 4月26日の一面と平和欄に「芸備銀 復興の原点」広島銀前身 被爆1・2年後の写真残る」などの見出しで報道)
- 4月20日(火) 国立公文書館データベース横断検索開始
「中国新聞」文化面の「緑地帯」に, 西向主任研究員の「広島の災害と歴史資料」の連載が開始(～4月29日, 8回)
- 4月22日(木) 三原市教育委員会文化課職員が旧三原市立中央図書館の収蔵資料の整理について相談のため来館(荒木・西向)
中国新聞記者が収蔵文書展について取材(その後休館となったため, 掲載されず)
- 4月28日(水) 書庫で配架移動作業(今年度初, 毎週水曜日, 3月16日まで断続的に継続)
- 5月6日(木) 茅ヶ崎市立図書館所蔵文書(202101) 寄贈受入
- 5月8日(土) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため臨時休館(～6月1日の予定)
- 5月24日(月) 豊嶋家文書(202102) 寄贈受入れ(12月7日追加受入れ)
- 5月25日(火) 監査委員事務局から移管された文書を受入れ, 運搬(荒木・新原)
- 5月28日(金) 県教委文化財課主催の市町文化財行政担当者会議にオンラインで参加して報告(西向)
- 5月31日(月) 資料集第11集の印刷製本が納品
- 6月1日(火) 臨時休館を延長(～6月19日), 6月12日(土)までの予定であった収蔵文書展「資料からみた広島県庁舎の歴史」の打ち切りを決定
第16回中国四国地区アーカイブズウィークに参加(～7日)
第1・第4・第5書庫と第4書庫前室・マイクロ保管庫・荷解室・旧消毒室で除湿機の本格稼働開始(11月15日までに全室で停止。荷解整理室では3月から稼働開始し12月に停止, 令和4年3月から再稼働。マイクロ保管庫・旧消毒室・第4書庫前室の除湿機は5月に試運転開始。)
石川従事員着任
- 6月8日(火) 全史料協総会に出席(web会議, 木下・西向)
消防保安課から移管された文書を受入れ, 運搬(荒木・新原)
- 6月9日(水) 全国公文書館長会議に出席(～10日, web会議, 木下)
森岡晋氏収集文書(201912)の追加寄贈
- 6月11日(金) 全史料協関東部会総会・記念講演会(第308回定例研究会)に参加(オンライン, 新原)
- 6月16日(水) 広文協総会中止により, 会員宛てにメールで書面議決の文書を送付
広島港湾振興事務所で文書選別(荒木・新原)
- 6月21日(月) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じて開館
- 6月23日(水) 斜森家文書(202103)の寄贈受入れ
- 6月24日(木) 東広島市教育委員会生涯学習課2名来館(東広島市史編さんについて依頼)
- 6月26日(土) 古文書解読入門講座(第1回)を開講
奥一浩氏所蔵文書(201823)の追加寄贈
- 6月30日(水) 1階らせん階段下の公衆電話機撤去
- 7月1日(木) 菅原範夫氏収集文書(201203)の追加寄贈を受入れ, 運搬(西村・新原)
閲覧室の複写機を更新
- 7月2日(金) 県立広島大学・広島県立図書館・広島県立文書館連携公開講座「日本文化に見る宴」を研修

会議室で開催（9日・16日にも開催。9日の講座前に当館の業務について説明）

（一財）行政管理研究センター「公文書管理セミナー」を受講（オンライン，新原・武田）

- 7月3日(土) 広島歴史資料ネットワーク（広島史料ネット）総会が当館研修室で開催
- 7月5日(月) 原田家文書（202104）の寄贈受入れ
- 7月6日(火) 第1回収蔵文書の紹介展 写真展「広島駅の歴史」開始（～9月18日(土)の予定）
- 7月8日(木) 県庁地下書庫の文書保存処置（～13日）（荒木，西向，新原，下向井，日高）
- 7月10日(土) 古文書解読入門講座（第2回）
- 7月12日(月) 県庁地下書庫で行政文書選別作業（荒木・新原）
- 7月15日(木) 小坂家文書（202106）の寄贈を受入れ，運搬（西村）
- 7月16日(金) 広文協第1回役員会中止により，役員宛てにメールで書面議決の文書を送付
- 7月19日(月) 国立公文書館「アーキビスト認証の拡充に係るヒアリング調査」（オンライン，荒木・新原・下向井）
- 7月20日(火) 手島益雄文書（202107）寄贈受入れ
市町行財政課で文書移管について協議（県庁，荒木・新原）
- 7月24日(土) 古文書解読入門講座（第3回）
- 7月26日(月) 中国新聞記者が高山等資料（200203）の被爆者カルテの利用について取材（8月1日の「ヒロシマの空白 被爆76年 証しを残す 直後のカルテ欄に「閲覧 遺族すら許されず」などの見出しで報道）
- 7月27日(火) 佐竹家文書（202105）の寄贈受入れ
「廿日市市文化財保存活用地域計画協議会」に委員として出席（西向，12月21日も）
- 7月29日(木) 令和2年度年報をホームページに掲載
- 8月2日(月) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため臨時休館（～9月11日(土)の予定）
- 8月19日(木) 広島歴史資料ネットワーク 現地研修会「西日本豪雨で被災した古文書を救え！」の打合せ（オンライン，西向・下向井）
文書館規程集一部改正（押印廃止）
- 8月20日(金) 北部畜産事務所から移管された文書を受入れ，運搬（庄原庁舎，荒木・新原）
- 8月23日(月) 被爆者支援課で文書保管について協議（県庁，荒木）
国立公文書館「アーカイブズ研修Ⅰ」を受講（オンライン，～27日，新原）
- 8月25日(水) 広島市市民局文化スポーツ部文化振興課主催「広島城の展示整備に関する懇談会」に委員として出席（西村，11月1日・12月27日・令和4年3月22日も）
- 8月31日(火) 医療介護保険課の長期保存文書選別作業（県庁書庫，荒木・新原）
- 9月2日(木) 知和静夫氏収集資料（202108）の寄贈受入れ
- 9月7日(火) 行政文書選別作業（県庁書庫，9月13日・15日～17日，24日，29日，10月7～8日・12日～15日・19日・26日も，荒木・新原）
- 9月13日(月) 臨時休館を延長（～9月30日(木)）
エキヒュームSによる文書燻蒸（業者燻蒸室）のため文書搬出（16日返却）
- 9月17日(金) 県教育委員会で文書選別作業（荒木・新原）
- 9月24日(金) 市町行財政課で文書選別作業（県庁，荒木・新原）
寄託・平賀家文書（198803）が寄贈され，受領
- 9月29日(水) 市町行財政課・県教育委員会から移管された文書を受入れ，運搬（荒木）
- 10月1日(金) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じて開館
新型コロナウイルス感染症対策業務のため健康福祉局へ応援（～29日，新原）
予定を変更し，第1回収蔵文書の紹介展 写真展「広島駅の歴史」再開（～12月27日）
- 10月3日(日) 広島史料ネットが広島市瀬野公民館で開催した現地説明会「西日本豪雨で被災した古文書を救え！」で研究報告（西向・下向井，12月6日の『中国新聞』文化欄に「史料レスキュー 歴史に光」などの見出しで報道）
- 10月9日(土) 古文書解読入門講座（第4回）
- 10月15日(金) 佐々木勝幸氏収集文書（200611）の追加寄贈受入れ

- 10月21日(木) 中国・四国地区文書館等職員連絡会議（徳島県）に出席（web会議，新原）
- 10月23日(土) 古文書解読入門講座（第5回）
- 11月1日(月) 新型コロナウイルス感染症対策業務のため健康福祉局へ応援（～30日，荒木）
- 11月4日(木) 被爆者支援課で文書保管について協議（県庁，新原）
- 11月6日(土) 古文書解読入門講座（第6回）
徳島新聞社記者が三好家文書（201311）を取材（12月17日に「三好長慶の子孫健在」などの見出しで報道）
- 11月8日(月) 国文学研究資料館の「2019年度アーカイブズ・カレッジ（史料管理学研修会）」短期コースを受講（～13日，高原，松江）
- 11月9日(火) 社会援護課で文書移管について協議（新原）
- 11月10日(水) 広島県情報プラザ防災訓練（オンライン）
- 11月12日(金) マイクロ保管庫の扉を修理
行政文書選別作業（県庁書庫，新原）
- 11月15日(月) 環境保全課で文書移管について協議（県庁，新原）
RCCテレビが当館保管の「陸軍兵籍簿」を取材（12月10日「イマナマ！」で放映）
- 11月16日(火) 選別した行政文書の箱詰め作業（県庁書庫，新原・土井・長谷川・武田・石川）
社会援護課で移管予定文書の調査作業（県庁，新原）
- 11月17日(水) 地下書庫前室扉の右側を修理
- 11月18日(木) 第47回全史料協全国大会に出席（オンライン，～19日，高知県高知市，西向・新原）
- 11月20日(土) 古文書解読入門講座（第7回）及び修了式
- 11月22日(月) 社会援護課から移管された文書の受入れ準備作業（県庁，24日も，新原・宇都宮）
- 11月24日(水) 中山間地域振興課で文書移管について協議（県庁，新原）
中国新聞記者から相談され，同社で保管する写真プリントの保存対策について助言（西向・下向井）
- 11月25日(木) 県庁で選別した文書と社会援護課から移管された文書を観音書庫へ運搬（新原・宇都宮）
- 11月26日(金) 広文協第2回役員会中止により，役員宛てにメールで書面議決の文書を送付
環境保全課で移管予定文書の調査作業（県庁，11月29～30日，12月1～3日，6日，10日，13日，荒木・新原）
中山間地域振興課で移管予定文書の調査作業（県庁，12月16日，1月6～7日，25日，27日，荒木・新原）
観光課職員に，3月にリニューアルオープンする東京のアンテナショップ「TAU」の壁面に掲示する広島藩領内絵図と広島県館内略図などを提供
- 11月29日(月) 展示アンケート協力者に配布する絵葉書シリーズに広島駅の絵葉書8点を追加
医療介護人材課で文書移管について協議（県庁，新原）
- 11月30日(火) 被爆者支援課で文書保管について協議（県庁，新原）
- 12月1日(水) 会計総務課で文書移管について協議（県庁，荒木・新原）
文書館規程集一部改正（代理決裁等）
- 12月2日(木) 医療介護人材課で移管予定文書の調査作業（県庁，荒木・新原）
- 12月3日(金) 新型コロナウイルス感染症対策業務のため健康福祉局へ応援（～27日，木下）
- 12月6日(月) 読売新聞広島総局記者が収蔵文書の紹介展について取材（12月18日広島版に「広島駅3代変遷の歴史」などの見出しで記事掲載）
- 12月7日(火) 観音書庫で移動式書架設置準備（荒木・日高）
- 12月8日(水) 会計総務課・社会援護課から移管された文書を受入れ・運搬（～9日，荒木・新原）
マイクロ保管庫への書架設置に伴い，同室内の資料などを書庫へ移動
- 12月9日(木) 医療介護人材課から移管された文書を受入れ・運搬（荒木・新原）
- 12月15日(水) 広島史料ネットが当館研修室で作業（～17日）
- 12月16日(木) 広島県の公式ツイッターが収蔵文書の紹介展を紹介
- 12月24日(金) 循環型社会課で文書移管について協議（県庁，荒木・新原）

- 12月27日(月) 環境保全課から移管された文書を受入れ・運搬(荒木・新原)
- 1月4日(火) 研修・会議室に新型コロナウイルス感染症対策として、演台と研修机用にパーテーションを設置
- 1月5日(水) 利用者の電子申請システムに3つの様式を追加し、1つの様式を変更して再公開。
- 1月11日(火) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため臨時休館(～1月31日(月)の予定)
- 1月13日(木) 国際課で文書移管について協議(県庁, 荒木・新原, 18日に受入れ・運搬)
- 1月21日(金) 中山間地域振興課から移管された文書を受入れ, 運搬(荒木・新原)
- 1月31日(月) 書庫の空調改修工事のため空調停止(～2月20日)
- 2月1日(火) 臨時休館を延長(～2月19日)
Wifi環境整備のため閲覧室・研修室利用者の端末ネットワーク構築工事
- 2月2日(水) 中山間地域振興課で移管された文書を受入れ, 運搬(荒木・新原)
古文書整理臨時職員を雇用(～3月18日, 学生3名)
- 2月4日(金) 東広島市史編さん委員会に委員として出席(オンライン, 西村)
- 2月7日(月) 医務課・総務課文書グループから移管された文書を受入れ・運搬(荒木・新原)
- 2月8日(火) 全史料協・公文書館機能セミナーin岡山に出席(オンライン, 新原)
- 2月14日(月) ひかり回線工事(NTT西日本)・Wifi接続作業(中国電設工業)(閲覧室・研修室利用者端末ネットワーク構築)
- 2月19日(土) 第8回全国史料ネット研究交流集会上でオンラインに参加(～20日, 西向・新原・西村・下向井・三浦文書調査員)
- 2月21日(月) 臨時休館を延長(～3月5日)
新型コロナウイルス感染症対策業務のため健康福祉局へ応援(～3月6日, 木下)
- 2月22日(火) 沼田良平氏所蔵資料(202109)の寄贈受入れ
- 3月2日(水) 島田家文書(202110)の寄贈受入れ(2月28日付け「中国新聞」備後面で「明治期の新聞大量発見」の見出しで報道)
- 3月3日(木) 広島大学日本史研究室で資料集(来年度発行予定)の校正(東広島, 西村)
- 3月4日(金) 全史料協関東部会第305回定例研究会に出席(オンライン, 新原)
- 3月7日(月) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じて開館
大岡家文書(202111)の寄贈受入れ
神奈川大学日本常民文化研究所の古文書修復実習(第25回常民文化研究講座)を受講(オンライン, 石川)
- 3月9日(水) 『広島県立文書館だより』第46号を発行(文書館HPおよび職員ポータルで公開)
- 3月15日(火) マイクロ保管庫に集密書架(第1期)を設置
大型冷蔵庫により新規受入れ古文書を低温殺虫処置
- 3月16日(水) 観音書庫で移動式書架を設置作業(22日も)
- 3月17日(木) 東広島市総務課から広島県報を受入れ, 運搬(日高)
橋本家文書(200804)の追加寄贈受入れ
- 3月18日(金) 情報プラザ空調設備(書庫など)更新工事が完成
- 3月22日(火) 自然環境課で文書移管について協議(県庁, 新原, 25日に受入れ運搬)
- 3月26日(土) リニューアルされた県立図書館のホームページの横断検索に当館所蔵資料を追加
広島県の公式ツイッターが収蔵文書展を紹介(～30日, 計5回)
- 3月28日(月) 行政文書選別会議(木下・荒木・新原・宇都宮・武田)
- 3月29日(火) 収蔵文書展「チャップリンの日本人秘書高野虎市-「コーノ」に寄せられた期待-」を開始, 展示図録を発行
住吉義級文書(202112)の寄贈受入れ
- 3月31日(木) 『広島県立文書館紀要』第16号発行
『広文協通信』第40・41合併号発行

Ⅲ 法律・条例・規則

1 公文書館法

昭和 62 年 法律第 115 号
最終改正 平成 11 年 法律第 161 号

(目的)

第 1 条 この法律は、公文書等を歴史資料として保存し、利用に供することの重要性にかんがみ、公文書館に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定義)

第 2 条 この法律において「公文書等」とは、国又は地方公共団体が保管する公文書その他の記録(現用のものを除く。)をいう。

(責務)

第 3 条 国及び地方公共団体は、歴史資料として重要な公文書等の保存及び利用に関し、適切な措置を講ずる責務を有する。

(公文書館)

第 4 条 公文書館は、歴史資料として重要な公文書等(国が保管していた歴史資料として重要な公文書その他の記録を含む。次項において同じ。)を保存し、閲覧に供するとともに、これに関連する調査研究を行うことを目的とする施設とする。

2 公文書館には、館長、歴史資料として重要な公文書等についての調査研究を行う専門職員その他必要な職員を置くものとする。

第 5 条 公文書館は、国立公文書館法(平成 11 年法律第 79 号)の定めるもののほか、国又は地方公共団体が設置する。

2 地方公共団体の設置する公文書館の当該設置に関する事項は、当該地方公共団体の条例で定めなければならない。

(資金の融通等)

第 6 条 国は、地方公共団体に対し、公文書館の設置に必要な資金の融通又はあっせんを努めるものとする。

(技術上の指導等)

第 7 条 内閣総理大臣は、地方公共団体に対し、その求めに応じて、公文書館の運営に関し、技術上の指導又は助言を行うことができる。

附 則

(施行期日)

1 この法律は、公布の日から起算して 6 月を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。

(専門職員についての特例)

2 当分の間、地方公共団体が設置する公文書館には、第 4 条第 2 項の専門職員を置かないことができる。

(総理府設置法の一部改正)

3 総理府設置法(昭和 24 年法律第 127 号)の一部を次のように改正する。

第 4 条第 7 号の次に次の 1 号を加える。

7 の 2 公文書館法(昭和 62 年法律第 115 号)の施行に関すること。

附 則(平成 11 年 12 月 22 日法律第 161 号)抄

(施行期日)

第 1 条 この法律は、平成 13 年 1 月 6 日から起算して 6 月を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。

2 広島県立文書館設置及び管理条例

(昭和 63 年広島県条例第 1 号)

(設置)

第 1 条 県に関する歴史的資料として重要な行政文書、古文書その他の記録(以下「文書等」という。)を収集し、及び保存するとともに、これらの利用を図り、もって学術及び文化の発展に寄与するため、広島県立文書館(以下「文書館」という。)を設置する。

(位置)

第 2 条 文書館の位置は、広島市中区千田町三丁目とする。

(業務)

第 3 条 文書館は、次の業務を行う。

(1) 文書等の収集、整理及び保存に関すること。

(2) 文書等の利用に関すること。

(3) 文書等の調査及び研究に関すること。

(4) 文書等についての専門的な知識の普及啓発に関すること

(5) 文書等の目録、史誌、資料集等の編さん及び刊行に関すること

(6) その他文書館の目的を達成するために必要な事業に関すること

(職員)

第 4 条 文書館に、館長その他必要な職員を置く。

2 館長は、文書館の業務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

(委任規定)

第 5 条 この条例に定めるもののほか、文書館の内部組織その他管理に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して 8 月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(昭和 63 年 9 月広島県規則第 59 号で、同 63 年 10 月 1 日から施行)

3 広島県立文書館管理規則

昭和 63 年広島県規則第 60 号
最終改正 令和 3 年広島県規則第 78 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、広島県立文書館(以下「文書館」という。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第 2 条 文書館の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、土曜日の開館時間は、午前 9 時から正午までとする。

2 文書館の長(以下「館長」という。)は、必要があると認めるときは、前項の開館時間を臨時に変更することができる。

3 館長は、前項の規定により文書館の開館時間を臨時に変更しようとするときは、あらかじめその旨を文書館に掲示するものとする。

(休館日等)

第 3 条 文書館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日
- (3) 1 月 2 日から同月 4 日まで及び 12 月 28 日から同月 31 日まで

2 館長は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

3 館長は、前項の規定により臨時に休館し、又は開館しようとするときは、あらかじめその旨を文書館に掲示するものとする。

（遵守事項）

第 4 条 文書館においては、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- 1 広島県立文書館設置及び管理条例（昭和 63 年広島県条例第 1 号）第 1 条に規定する文書等（以下「文書等」という。）又は文書館の施設若しくは設備を亡失し、き損し、又は汚損しないこと。
- 2 他人に危害を及ぼし、迷惑を掛ける行為その他文書館の秩序を乱す行為をしないこと。
- 3 職員の指示に従うこと。

（禁止行為）

第 5 条 文書館においては、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、館長の許可を受けた場合は、この限りでない。

- (1) 寄付の募集
- (2) 爆発物その他危険物の持ち込み
- (3) 行商その他これに類する行為
- (4) 宣伝その他これに類する行為
- (5) 広告物の掲示若しくは配布又は看板、立札類の設置

（入館の制限等）

第 6 条 館長は、前 2 条の規定に違反するおそれのある者又はこれらの規定に違反した者に対して、文書館への入館を拒否し、又は文書館からの退去を命ずることができる。

（文書等の寄贈及び寄託）

第 7 条 文書館は、文書等の寄贈及び寄託を受けることができる。

2 寄託を受けた文書等は、その保管、利用等に関し、寄託者と特約がある場合を除き、文書館所蔵の文書等と同様の取り扱いをするものとする。

3 寄託を受けた文書等が天災地変その他不可抗力により損害を受けたときは、その責めを負わないものとする。

（文書等の利用の制限）

第 8 条 文書等のうち、次に掲げるものは、館長が学術研究上特に必要があると認めた場合を除き、利用に供しないものとする。

- (1) 個人もしくは団体の秘密保持のため、又は公益上の理由により利用に供することが不適当な文書等の全部又は一部
 - (2) 文書等の整理又は保存上支障があるもの
- 2 寄贈又は寄託を受けた文書等の利用に関し寄贈者又は寄託者と特約がある場合は、当該特約に従うものとする。

（利用券）

第 9 条 文書等を利用しようとする者は、別記様式第 1 号による文書館利用券交付申請書を館長に提出し、別

記様式第 2 号による利用券（以下「利用券」という。）の交付を受けなければならない。

2 前項の場合において、館長は、必要と認めるときは、申請者にその身分を証明することができるものの提示を求めることができる。

3 利用券の有効期間は、交付の日から 1 年とする。

4 館長は、利用券の交付状況を明らかにするため、別記様式第 3 号による利用券交付台帳を備えなければならない。

（閲覧の手続）

第 10 条 文書等を閲覧しようとする者は、別記様式第 4 号による文書等閲覧申請書に利用券を添えて館長に提出し、閲覧しようとする文書等（以下「閲覧文書等」という。）を借り受けるものとする。

2 閲覧文書等の閲覧を終了した者は、速やかに当該閲覧文書等を返納しなければならない。

3 同時に借り受けることができる閲覧文書等は、館長が特別の理由があると認めた場合を除き、5 点以内とする。

（文書等の館外貸出し）

第 11 条 文書等の館外貸出しは、行わないものとする。ただし、館長が特別の理由があると認めた場合は、この限りではない。

（文書等の複写）

第 12 条 文書等の複写を希望する者は、別記様式第 5 号による文書等複写申請書に利用券を添えて館長に提出し、その承認を受けなければならない。

（出版物等への掲載）

第 13 条 文書等の全部又は一部を出版物等に掲載しようとする者は、あらかじめ、別記様式第 6 号による出版物等掲載許可申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

（損害賠償義務等）

第 14 条 文書等又は文書館の施設若しくは設備を亡失し、き損し、又は汚損した者は、別記様式第 7 号による亡失等届出書を館長に提出するとともに、これを修復し、又はその損害を賠償しなければならない。

（館長）

第 15 条 館長は、非常勤の職員をもって充てることができる。

（委任規定）

第 16 条 この規則の施行に関し必要な事項は、館長が定める。

附 則

この規則は、昭和 63 年 10 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、平成 5 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則

この規則は、令和 3 年 8 月 1 日から施行する。

4 広島県文書等管理規則（抄）

（平成 13 年広島県規則第 31 号）

（文書等の廃棄等）

- 第 9 条 完結文書（第 7 条第 2 項の規定により決定された保存年限が 30 年である完結文書（第 4 項において「30 年保存文書」という。）を除く。）の保存年限が満了したときは、書庫に収蔵したものにあっては総務課長等において、その他のものにあっては主務取扱主任において廃棄するものとする。
- 2 主務取扱主任は、保存年限満了前に完結文書を廃棄しなければならない特別の理由が生じたときであっても、総務課長等の承認を得なければ、当該完結文書を廃棄することができない。
- 3 総務課長等又は主務取扱主任は、前 2 項の規定により完結文書を廃棄しようとするときは、当該完結文書を広島県立文書館（以下「文書館」という。）で保存することの適否について文書館の長（以下「文書館長」という。）の審査を受けなければならない。
- 4 総務課長等又は主務取扱主任は、保存年限の満了した 30 年保存文書及び前項の審査により文書館で保存すると決定された完結文書については、それらの文書が法令により廃棄しなければならないとされている場合等特別の理由がある場合を除き、文書館長に引き渡さなければならない。

附 則（平成 24 年 4 月 1 日規則第 35 号）抄

（経過措置）

- 2 この規則による施行前に主務取扱主任が決定した保存年限が長期である文書等の管理については、なお従前の例による。ただし、当該文書のうち、完結年度の翌会計年度の 4 月 1 日から起算して 30 年を経過する完結文書については、総務課長等又は主務取扱主任は、当該完結文書が法令により廃棄しなければならないとされている場合等特別の理由がある場合を除き、文書館長に引き渡すよう努めるものとする。

5 広島県文書等管理規程（抄）

（平成 13 年広島県訓令第 5 号）

（文書等の廃棄等）

- 第 43 条 総務課長等及び主務取扱主任は、保存年限が満了した完結文書は文書館に引き渡す文書等を除き、焼却、細断等適切な措置を講じた上で廃棄するものとする。ただし、電磁的記録については、磁気ディスク等に記録されている当該電磁的記録を消去する方法により廃棄するものとする。
- 2 総務課長等又は主務取扱主任が保存年限が満了した完結文書を文書館で保存することの適否について規則第 9 条第 3 項の規定により審査を受けるときは、当該完結文書の目録の写しを文書館長に送付するものとする。
- 3 文書館長は、前項の規定による審査の結果、文書館において保存しようとする廃棄予定文書については、別記様式第 9 号による廃棄予定文書保存通知書を作成し、総務課長等又は主務取扱主任に通知するものとする。

＝ 利 用 案 内 ＝

1 開館時間

- ・月～金曜日 9時～17時
- ・土曜日 9時～12時

2 休館日

- ・日曜日，国民の祝日・休日
- ・年末年始（12月28日～1月4日）

3 閲覧の仕方

- ・初めて利用される方は閲覧室のカウンターで利用券の交付を受けてください。
- ・目録やカードで必要な文書を検索し，閲覧申請書に必要な事項を記入してカウンターに出してください。
- ・一度に利用できる文書は，5点までです。
- ・文書の検索や利用について分からないことがあればカウンターでお尋ねください。

4 資料の複写等

- ・文書・図書の館外貸出しは行いません。
- ・文書の複写は，別に許可が必要です。カウンターで所定の手続きをしてください。
- ・複写は，実費をいただきます。

5 その他

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため，利用を制限する場合などがあります。
- ・来館にあたっては，文書館のホームページや館入口の掲示をご確認ください。



交通 JR 広島駅から
広島港行（ベイシティ宇品経由）バス
…広島県情報プラザ前下車
広島港行（紙屋町経由）路面電車
…広電本社前下車約 500m
…広島県情報プラザ内駐車場 利用可能（有料）

広島県立文書館事業年報 第 33 号

（令和 3 年度分）

（令和 4 年 7 月発行）

編集・発行 広島県立文書館

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目 7-47
広島県情報プラザ内
TEL 082(245)8444
FAX 082(245)4541

広島県立文書館ホームページ : <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/monjokan/>

Eメールアドレス : monjokan@pref.hiroshima.lg.jp